

教員免許更新制予備講習に関するアンケート調査集計表

【区分1：今回試行を受講できた者】

10月24日時点

153名(221名分集約:68名は受講できなかった者:集計は別)

鹿児島県教職員組合文化部

【予備講習の受講会場】（複数選択可）

受講会場	
鹿児島大学	124
奄美大島会場	21
種子島会場	20
他県の大学等	7

未記入 6

鹿児島大学+種子島
 鹿児島大学+奄美大島
 奄美大島+種子島
 種子島+他県
 鹿児島大学+種子島+奄美
 鹿児島大学+他県

少数だがある

1 免許状更新講習の予備講習の実施については、どのようにして情報を知りましたか。（複数選択可）

	項 目	人数
1	5月に県教委が出した通知が、学校で広報されたから。	69
2	職場の同僚や友人等から聞いた。	42
3	管理職から聞いた。	79
4	鹿児島大学のホームページで知った	7
5	組合の情報で知った	6
6	その他	8

- ・ 関係ないと思っていたら学校長によれば該当であると知った。
- ・ 一度公文で回覧があり、何のことかわからなかったが、現在33歳で、35歳ではないし、45歳、55歳でもないの、自分は対象外だと思っていたら、数週間後、公文を読み返していた方と雑談の中で対象者だとわかりました。
- ・ 通知が遅く届いた。(7月)
- ・ 他の研修会で知りました。
- ・ 職員会議で管理職(校長)より説明があった。
- ・ 校内で更新講習が行われていくことを知ったが、自分がその対象者だったということを知ったのは、他の学校に勤務している知人からだった。
- ・ 先に自分で調べた。(文科省のサイト)
- ・ 新聞から知りました。

2 鹿児島大学への予備講習の申し込み方法は、インターネットを通じて行われましたが、そのことについて教えてください。

	項 目	人数
1	面倒であった	82
2	別に支障は無かった	25
3	郵送などインターネット以外が良かった	20
4	自分だけでは、申し込みができなかった	40
5	その他	21

【その他】

- ・ 申し込み日が開始された日に、申し込み方法が分からず実際に、次の日大学へ電話してようやく分かったが、受けたい講習はいっぱいだった。開始日から1週間たって申し込み方法の冊子が届いた。税金の無駄づかいである。
- ・ インターネット申し込みが複雑だった。申し込みしたはずだったが、次の確認ボタン(?)のクリックをしてなかったのでやり直した。 (詳しい職員でも難しかった) 受講票のプリントアウトも。
- ・ 学校のパソコンからはアクセスできず、自宅へもどってからやったが、ほぼ満杯であった。
- ・ 家にインターネットがないので、職場のパソコンの前にはりついて必死で申し込みしました。なかなか大変でした。
- ・ 仕事中に申し込みが定員となり、受講できなかった。
- ・ インターネット等がない人は、大変だろうな。
- ・ インターネットからリアルタイムの情報は見ることができるのはよいが、もしそのような環境になかったら・・・
- ・ 25日の夕方には、必修教科は満杯で申し込めなかった。勤務時間内に申し込んだ人は、申し込めたようだ。
- ・ 広報されてからホームページを見たが、すでに受講できるものは少なかった。
- ・ インターネットで申し込んだ後、郵送書類もあり面倒な点が多かった。
- ・ インターネットに慣れていない私は、とても負担でした
- ・ 申し込める時間帯が仕事中で出遅れて、希望の場所で受けられなかった。
- ・ 時間を問わずに申し込みできる点は便利だったが。
- ・ 自宅にインターネットがないので、諸手続きが後手ごてに回り思うような申し込みは全く出来なかった。
- ・ 学校のパソコンから申し込んだが、パスワード等知らないで面倒だった (自宅は設定は、まだしていなかった)
- ・ パソコンのインターネットを個人では利用していなかったので、申し込みにかかった。
- ・ 知った時には、ほぼ締め切られていた (2の回答者)
- ・ 申し込みをしてから申し込みの手引きをもらったので大変だった。
- ・ インターネットが自宅になかったため、夫の職場で申し込みをしました。(4の回答者)
- ・ 必修は定員オーバーでした。自宅は固定電話もインターネット回線もないので、学校のインターネットを使いました。

- ・ 不親切
- ・ 便利だったが、初めてということもあり、システムに疑問を感じることもあった。
- ・ インターネットのつながっていない人や苦手な人にとっては不便
- ・ 専科の先生が、授業中を使って代りに手続きしてくださったので間に合った。そうでなければ出来なかった。
- ・ 同僚が自分と一緒にしてくれた。
- ・ やりかたがよく分からず、受理されたとおもっていたが、手続きにミスがあり受理されなかった講座もあった。
- ・ 申し込んでから抽選で決まる県もあると聞いたので、それよりは良いと思ったが、事前にネット申し込みができることを知らなかったので慌てた。
- ・ 学校のパソコンで申し込んだ後、大学に電話して自宅への変更をした。（テスト結果がメール公開されるため、受講決定と諸連絡を受けるため）※大学への問い合わせに対しては、親切に対応してくれて助かった。夜8:00すぎても・・・
- ・ webから申し込みしていたのに、されておらず受講できなかった講習があった。
- ・ web上の申し込みの後、即郵送しなければならないのが面倒だった。初めてだったので、写真の用意や校長印など大変だった。あと、募集後2・3日後にホームページを開いたら、ほとんど締め切られていてびっくりした。
- ・ 当日に、受付が（必修が）しめきられていた。
- ・ 申し込みが多く、ほとんど埋まっていた。
- ・ 別に面倒ではなかったが、全員が受講できる体制をつくってほしい。
- ・ 受付状況がよくわかり、よい方法だったと思います。
- ・ 早く申し込んだ人だけ受講できるというのは、どのようなものかと思った。
- ・ 今回は、インターネットを申し込んでから書類郵送もあったので、そこは大変でした。（来年からはないそうですが。）
- ・ 希望者が多い講座は、申し込み開始（10時）すぐでないと申し込めず、忙しい先生方は、放課後になり・・・ということがありそうなので、そこは、心配です。

3 今回の予備講習を申し込んだ理由は、次のどれですか。（複数選択可）

	項目	人数
1	本格実施の前にどのような講座があるのか知っておきたかったから。	19
2	予備講習の受講料が無料だったから。	129
3	早く受けたほうが有利だと感じたから。	70
4	本格実施されたとき、今回の予備講習の一部または全部が免除になるため。	78
5	10年目研修と重なりが出ると負担が大きくなると思ったから。	11
6	友人や管理職等に勧められたから。	6
7	その他	9

【その他】

- ・ 離島勤務なので不安を感じたから。来年度から本当に参加人数分確保してくれるか不安だから。
- ・ 早めにすませておきたかったが、この申し込む時期も非常に多忙で、家でインターネットをつな

ぐ時間さえなかった。

- ・ 家庭の事情
- ・ 自分の受けた研修が予備講習にかえることができた。
- ・ 受講したい講習内容であったため（現在の仕事内容と関連のあるもの）
- ・ 通知が急なことで、受講しないといけないと思ったから。
- ・ 6年目研修と重なると大変だから。
- ・ 教員免許更新制度は、悪制度だと強く認識するので、本当にそうか体験するために受講しました。
- ・ 屋久島町の学校のメールアドレスの使用期限が切れ、変更途中で申し込めたかどうかわからず、大学からの返事を学校のパソコンで受けとれなかったので推進室へ電話した。
- ・ 携帯メールアドレスで登録できなかった。できたら便利です。学校のメールアドレスを使用しました。あと、疑問に思うのは、メールアドレスを持っていない人は、どのように登録するのか。
- ・ 対象者だったから

4 自分が希望したとおりの講座の受講はできましたか。

	項 目	人数
1	できた	59
2	できなかった	93

【できなかった理由】

- ・ 申し込み日が開始された日に、申し込み方法が分からず実際に、次の日大学へ電話してようやく分かったが、受けたい講習はいっぱいだった。開始日から1週間たって申し込み方法の冊子が届いた。どれだけの対象者がいるのか把握しているのだろうか。
- ・ 定員オーバーにより、申し込みした全ての講座を受講することができなかった（他県受講）
- ・ インターネット操作が不慣れで申し込みができなかった講座があった。
- ・ 職員研修も休ませてもらってパソコンに向っていたので早く申し込めた。
- ・ 鹿児島大学での受講を希望したが、その日に締め切りとなりやむなく種子島会場の講座を受講しました。
- ・ IDさえもとれてないから。申し込み方法が面倒である。
- ・ アクセスした時、すでに満杯であった。
- ・ インターネットでの受付だったため、希望したらすでに定員に達していたから。
- ・ ステップアップ研修と日程が重なった。受付初日夜には、ほとんどの講座が定員に達していた。
- ・ 希望する講座及びほとんどの開設講座が、すぐに定員となり予約もできなかったから。
- ・ 希望講座は、定員オーバーであった。
- ・ 申し込みをするのが（方法が分からず手間どったため）遅くなり希望の講座への申し込み数が定員になっていた。
- ・ 希望の講座がないため。
- ・ インターネットで申し込んだ人数で切られてしまったから。
- ・ 必修が受講できなかった。
- ・ 定員で受講できなかった。
- ・ 定員オーバーで受講できなかったものが多々。5/26 初日でほぼ定員に満たされていた。
- ・ 10:00 から予約受付ということで、申し込みが遅れ受付されなかった。

- ・ 定員に達していたため。
- ・ 定員が当日でいっぱいだったため。
- ・ すぐにいっぱいになってしまい、受講できなかった。来年も同じようになると思うと不安だ。
- ・ 受講者の募集枠が少なく、今回は必修（12 時間）を受講することができなかった。インターネットでの申し込みが遅く、申し込み初日の夕方には定員に達していた。宮崎県からの希望者が流れ込んだためらしい。
- ・ 応募開始初日の午前中には、ほとんどの講座が定員に達していた。授業に空がない担任は応募困難だった。
- ・ 申し込みが間に合わなかった。
- ・ 定員がすぐにいっぱいになっていた。
- ・ 人数制限あり。科目が少なかった（特別支援）・・・特別支援学校教員
- ・ 申し込み開始日の夜に申し込もうとしたが、すでに定員一杯であった。
- ・ 自宅のパソコンでできなかったことと、学校でも授業等の間の手続きとなったため希望する講座全て受け付け終了だった。
- ・ 申し込みが勤務時間内の午前 10 時から行われたが、夕方 5 時に申し込んだら、必修を中心として定員いっぱいのもので多く受講できなかった。
- ・ 必修申し込みの際、ID の取得に手間どり申し込み人数を越えて、なかった。
- ・ その日にインターネット受付したが、定員オーバーの講座があり残念だった。必修は鹿児島大学で受講できなかったのもので奄美に行った。
- ・ 鹿児島大学のホームページを閲覧した時点で、すでに申し込みはほぼ終了していた。人数が殺到していたようだ。（1～2 日の間で）
- ・ 定員いっぱいであったから。
- ・ 予備講習を知ったときには、すでに定員に達していたため。
- ・ すでに、いっぱいになってしまったから。
- ・ 人気のある選択科目は定員に達していたため。
- ・ 定員オーバーだったから。
- ・ 受講定員の締め切りが早く、場所を変えてやらなくてはならなかった。
- ・ 盆と重なったため。
- ・ 自分が知ることが遅かったこともあり、申し込み期日（締め切り）に間に合わなかった。
- ・ 教科に関する講座の内容が、中学校の内容と全く関連がなかった（個人的な興味を引く講座もあった）
- ・ 県教委が出した通知を手にした時は、申し込み受付が始まっておりほとんどの講座が定員に達していた。
- ・ 必修科目は、予備講習の案内があった翌日には定員いっぱい申し込みできなかった。
- ・ 必修は、鹿児島大学分で締め切られた。
- ・ 学校で管理職から話があった時点で、必修は締め切られており選択も可能なものが3つしかなく、その3つを選ばざるをえなかった。
- ・ 申し込みが殺到したため、また、的確な情報がなくどう動いてよいのかわからなかった。
- ・ 必修科目が鹿児島大学で受けられなかった。選択科目は希望科目が受けられなかった。
- ・ 必修が1つしかなく、いくつかの講義がセットになっていたのも教科と重なりがでた。
- ・ 定員オーバーしていたため。

- ・ 現場から離れているため、この制度については何もわからず……。育児で忙しかったので申し込みに出遅れてしまいました。私は小学校です。高校（商業・水産学）の講義しか空いていなくて、仕方なく受講しました。全くの専門外で、かなり戸惑いました。
- ・ 申し込み開始と同時に鹿大につながりにくくなり、ほんの数時間で希望する講座の定員が埋まってしまったので。
- ・ 管理職から公文を受け取ったときには、すでに講座のほとんどが予約でいっぱい、空きがあるものしか受講できなかった。
- ・ 必修講座は既に、その日のうちにいっぱいになり、その後何度も問い合わせたが、申し込みは無理だった。
- ・ 選択も自分の今の学校種（特別支援学校）に関わる講座を受けたかったが、うまく都合が合わなかった。
- ・ 定員オーバーになり出来なかった。
- ・ （できた）ただし、大学側の絶大な配慮により実現しました。
- ・ 他県からの申し込みが多く、早くに登録を済ませた人が多かったらしい。もう入り込むところが、1～2 ぐらいしか残っていなかった。
- ・ 定員オーバー、日程上
- ・ 申し込みが遅かった。
- ・ 必修が既に定員を満たしていた。
- ・ 必修が定員オーバーで別会場の受講となった。
- ・ 必修は受講できなかった。
- ・ 「学習指導」という講座を受けたかったが、受付初日にほんの 20～30 分の間に、ネット上で定員オーバーになり受けられなかった。代りに他の講座を受けた。（定員が 30 名と信じられないほど少なかった）
- ・ 選択はとれたが、必修はすぐに定員一杯になったため、申し込みできなかった。
- ・ 必修科目の郡元会場がすぐ定員一杯となり、申し込みできなかった。
- ・ 受け入れ人数が少なく、すぐ申し込み人数が埋まった。管理職から説明があった時、すでに申し込みは埋まった後だった。
- ・ 情報が入った教師は、すぐに登録できたようだが、私が登録しようとしたときには、希望した講座は全て埋まっていた。
- ・ 申込日にネットで申し込みできると聞き、あわてて申し込んだが必修科目が受けられなかった。
- ・ 講座申し込み者数が多くて締め切られていた。講座日程が九州大会などと重なり受けられなかった。
- ・ 2・3 日後にアクセスしたら「必修」などは、ほとんどなかった。
- ・ 日程が合わなかった。希望人数が多く受講できなかった。
- ・ 希望が多くて、申し込もうとしたときには定員に達していたため。
- ・ 養教の選択科目が 1 つしかなく、18 時間全部がとれなかった。
- ・ 会場・講座ともに数が少なかった。予備講習であるが故にだと思いますが。
- ・ 専門は、初日の午後で締め切られた。他県からの受講者が多かった。自県の希望者を優先的に受講できるシステムにしてほしい。
- ・ 当初、受講を希望した講座と義務出会の研修が重なり、受講変更手続きを行なった。
- ・ インターネットのパスワード等の入力など、なかなか思うようにできず、やっているうちに定員

になってしまった。

- ・ 申し込みが多かった。
- ・ 定員からもれたり、県大会の日程と重なって受講できなかった。
- ・ 申し込みができていなかった。

5 予備講習の実際についてお尋ねします。

(1) あなたが受講されたのは、必修と選択どちらを受けましたか。

	項目	人数
1	必修(12 時間) だけを受講した。	12
2	選択(18 時間) のすべてを受講した。	16
3	選択の一部だけを受講した。	38
4	必修と選択(18 時間) すべてを受講した。	58
5	必修と選択の一部を受講した。	27
	未記入	2

(2) 受講された講座の内容について答えてください

	項 目	人数
1	満足できる内容であった	43
2	あまり満足できる内容ではない	45
3	不満である	11
4	どちらともいえない	41
	未記入	14

【理由】

1に○

- ・ A E Dの実技等は各地区や校内研修等でも積極的に実施されているので、それほど時間をかけなくてもいいのではないかと感じた。
- ・ 社会状況の変化による教育の状況を新しい視点で見ることができるよい機会であった（必修の教育の最新事情）障害児の教育全般について具体的な内容をあつかっており、非常に有意義で役立つものであった。
- ・ テストの必要性は感じなかった。
- ・ とても参考になったから
- ・ 授業で使える教材のヒントや資料について情報を得ることができた。
- ・ 実際に現場に役立つかは分からないが、自分の専門にとってはよい勉強でした。

2に○

- ・ 難しすぎるものが多かった。
- ・ だいたいの内容は、これまで研修したり情報として得ていることが多かったが、これぐらいでいい。
- ・ 講座内容が専門的すぎた。実際の現場で生かすには厳しい。
- ・ 希望した講座ではなかったこともあるが、内容が大学の授業のようであり現場に還元できないも

のだった。

- ・ 多くの内容を短時間で聞かされ、理解が追いつかない。
- ・ 教育の最新事情ではなかったため
- ・ 直接現場で生かせるような内容が少ない。
- ・ 生徒への授業に還元するには、講座内容が専門的で高度すぎる面がある。
- ・ 講座内容は学校現場で生かせるものではなかった。学校現場で勤務経験のない大学の先生たちは講座を行なってもあまり今後に生かせない。
- ・ あまり普段の授業に利用できるものではなかった。
- ・ 教授によって差がある
- ・ 必修は意味があると今回は感じたが、選択については、全く意味がないと感じた。
- ・ 最新情報というより、これまでの理論が主だった。
- ・ 概論が多く具体的でない。
- ・ これからの教員生活に活かせるものとはいえない内容もあった。
- ・ 指導の技術のあり方に対する考え方が違う（技術論はいろいろあってもいいのだが）
- ・ 申し込み時期も遅れ、残っている講座だったから。
- ・ 特に講習も受けなくても困るような内容ではなかった。
- ・ 教授により温度差があり、現状に即さない物もあった。
- ・ 中理だが、専門外の地学を受講したら、高度すぎた。合格できたので、問題はないが・・・。
- ・ テストがあるのが気がかりだったが、こちらの負担がない（感想を書くなど）ようにしてあった講座もあった。今後もそういう方向で実施してほしい。

3に〇

- ・ 大学の教授も不満を言いながら講義していた。
- ・ 役立ちそうな内容ではなかった。

4に〇

- ・ 免許更新に必要な講習の意味、内容が理解されていないから。
- ・ 講座によっては講師によって違うので一言では言えない。
- ・ 大学の先生の話はおもしろいものが多かったが、だいたい文科省の指示からそれた内容だったのも？文科省の指示に従ったもの？は、つまらない講習でした。
- ・ 実践できる内容を増やしてほしい。
- ・ 今後の教科活動に大変役立つものとあまり必要でないものがあったから。
- ・ 様々な内容で満足のできるものと、そうでないものとありました。
- ・ 講座の先生によって大きな差があると感じた。
- ・ 評価テストは、必要ないと思う。(持込不可は特に)
- ・ 講座内容にもよる。
- ・ 個人的には、興味深い講習であったが、教育現場では生かせることはほとんどないため。
- ・ 新学習指導要領については、タイムリーだったので主旨等詳しくわかったので良かった。選択については、ワークが多く面倒であった。指導案等は、対象児童の実態がないため作りにくかった。
- ・ 講座ごとに資料内容、プレゼンの仕方、グループ討議の有無等さまざまであった。大学教員の指導技術の向上を望む。
- ・ 国語は良かったが英語は講師のぼやきが多かった。

- ・ 選択の多くが教科に関する内容であり、生徒指導等の講座がなかった。
- ・ 自分が学びたいこととそうでないものや深まりがほしいものなどまちまちだった。
- ・ 今の現場の問題に関するものは役立つが、学生として学ぶ内容は疑問。
- ・ 講座によっては、より専門性を問われたので・・・。
- ・ 即実践につながるものは満足したが、理論的なものはいまいちだった。
- ・ 講座により違うが満足するものが多かった。
- ・ 大学生向けの講義のように感じたから。
- ・ 教授の考えがリベラルなので、ふだんの研修会とまたひと味ちがう広い視野を学べた。
- ・ 満足できる講習とそうでないものが半々であったから。
- ・ 幅広く知識を得るためにはよいが、現職で役立つとは思えない。
- ・ 自分の専門外の講座内容で難しかったです。(小教員で高商業・水産学の受講者)
- ・ 満足できるものもあったが、内容が実際に生かされそうもないものもあったから。
- ・ 教科によって職場と無関係なものやあまりにも難しすぎて困惑した。
- ・ 全く普段の授業に生かせるものではないものがあった。それを受講する意味が分からなかった。
- ・ 内容よりテストに出る部分しか頭に入らず、せっかくの講義も内容を深めて考えることよりテストに視点がいったのが本音。
- ・ 選択講座だったからかもしれないが、もっと実践的なものかと思っていたから。
- ・ 内容は悪くなかったが、この程度のものだったら日頃の短研や研修などでも十分であると感じた。
- ・ 教科によっては、小学校でとても役にたつことと、あまり役に立たないものとあったため。役に立つとは、授業に役立つという意味。
- ・ 満足できる内容もあったし、もう少し工夫がほしい内容もあった。
- ・ 内容によっては、学校現場に役立ちそうにないものもあった。
- ・ 理論が多く、レベルが高かった。
- ・ よい内容もあったが、文献を読むだけのものもあった。
- ・ 大学教授の専門性が大きく、現場に生かされない内容のものもあった。
- ・ 民間の方がくわしかったし、空きがなくてお盆でした。今、自分が欲しているものでなかった。
- ・ よいものと、そうでないものの差があった。
- ・ 講座（講師の先生）による。
- ・ ためになる講座もありましたが、予備講習のためか、実際の授業にはいかせないものもあった。

(3) 予備講習の多くが、夏季休業中や土曜・日曜・お盆の期間に開設されました。それについて、あなたのご意見を書いてください。

- ・ 平日に出張で行くのが筋である。
- ・ 離島からの参加のため日程上まとめて受講できる他県の大学で受講しようとした際、8月の出校日と重なっており、校長と相談しましたが、出勤を言われました。夏休み中だけでなく年間を通して余裕のある日程だと（例えば、必修など夏季・冬季回実施など）受講しやすいのですが・・・。
- ・ 土・日だと子どもを預かってくれるところがないので、できれば夏季・冬季休業中の時期の月～金に行なってほしい。いくつもの講習が同じ日に組まれてあったので。
- ・ 受講しやすかったが、奄美会場の講習（選択）を増やしてほしい。

- ・ 夏季休業中だったので、授業も休まずにすんだが、土曜日はせめてほしい。(お盆は学食も休みだった)
- ・ 平日に受講できればいいと思いますが、それが無理であれば、夏季休業中が望ましい。
- ・ 非常に多忙となった。通常の勤務に影響が出るほどであった。精神的にも苦痛であった。(評価テストがあるため)
- ・ 30 時間受講したので、結構日数がつぶれた感じ。
- ・ ない方がいい。
- ・ できれば日程をつめて、午前午後まとめてもらえれば何度も通わなくてすむのだが。お盆中も関係なく開催されていたので、必修の分は別の日にあるといいと思います。
- ・ 必修科目が複数日に分散されていたこと、コンクール等行事の直前に開講されていることなど、自分の都合で受講できなかった。
- ・ 問題なし(職務に支障が出ないため)
- ・ 夏季休業中はまだしも、土・日はどうかと思う。30 時間受講となるとやむをえないかもしれない。
- ・ 夏季休業中の平日(月～金)に組んでもらう方がよいと思う。
- ・ 平日は授業があり、参加しにくいので、この方法でやるしかないと思う。
- ・ あくまでも講師の都合だが、平日は研修なのに振替だったらよいのに。
- ・ 今年度は予備講習ということで、受け入れる大学側も大変だったと思う。もともと他の講習(認定講習等)もあったと思うので、土・日等でも仕方ないのかなと思っている。
- ・ 夏休み中に集中的にあったので、同僚に気がねなく講習に参加できて楽しかった。
- ・ できればお盆の時期は、はずしてもらいたかった。(必修)
- ・ 長期休業中に実施してもらう方が動きやすくてよい。
- ・ 予備講習に合わせて夏季休業が終わってしまった。子どもの教育相談すら行けなかった。お盆の日は昼食もとるところがなく大変だった。帰省も出来なかった。
- ・ 土曜日に受講し、研修としての勤務処理ができなかった。
- ・ 休日にあると休養がとれず疲れがたまり、仕事に支障がでる。お盆などは法事など他にも用事があり、かなり迷惑である。
- ・ 大学の方も大変だったと思います。教授・教職員の休暇まで割かなければいけないのはおかしいです。
- ・ 6～7 月頃から開設されていたのもあったと聞いているが。その先生によっては、年休で行ったとか・・・
- ・ 夏季休業中が一番いいのですが、土・日お盆ははずしてほしいと思います。
- ・ 何度も鹿児島市まで通わなければならない、また、土・日の分は研修もとれず慌しい夏休みだった。自分のことがあまりできなかった。(肝属教員)
- ・ 学級担任だと仕方がないと言えない。
- ・ 自分たちが自由のきく時期と考えると仕方ないと思う。
- ・ 夏季休業中はありがたかったが、お盆の時期は避けてほしい。
- ・ 自動車免許の更新とは性質が違うと思う。
- ・ 休養等に当てべき夏季休業中、特に土・日曜日やお盆の期間に開設つれるのは、問題があると思う。
- ・ 自分の家の初盆と予備講習の日が重なり、必修の場合、1 科目でも落とすと今までのものが無駄になるし 1 科目でも本年中にとった方が、来年度が負担が楽になる。来年も受けられるとは限らな

い。自分の健康、家族の健康のことなど、絶対はないから。

- ・ 大変でしたが、内容にまあ満足しているので何も思いません。
- ・ 本来、身体をゆっくり休めるべき土・日に研修を受ける仕組みは、“休まず働け”と言われていたようだった。代休がほしいと思った。
- ・ 大学で開講されるということ、自分たちの勤務のことを考えると仕方ないのかなと思う。
- ・ 鹿児島大学の教授たちの都合もあるかと思われます。仕方ないことだと。
- ・ お盆の日までする必要はないと思いますが、大学の先生方も時間がとれなかったのでしょうか。（土・日も同じ）
- ・ 夏休み期間中ほとんどの週に講習があり、夏季休業の計画が立てにくかった。休業中にあった希望する研修会にも参加できなかった。
- ・ ちょうどお盆の期間で、普段ならゆっくり過ごせるところ、連続した休みの中、1日出て行くのが負担でした。お盆のため駐車場も学食も使えませんでした。
- ・ 続けて受講であると休めないなので、できれば、休み以外（月～金）でできればと思いますが・・・
- ・ 夏季休業中は良いと思うが、土・日・お盆は避けるべき。ただし、大学の講師の都合というのがあるようだが、大学の負担も大きいので考えなければならない。
- ・ 早朝から夕方までの日も多かったが、健康上の理由から大変きつかった。手足のしびれで、テストのときペンがしっかりもてない、帰りの車の運転ができない日もあった。
- ・ 土・日・お盆は避けてほしい（家族の行事）
- ・ 1つの講習について同じ場所で2回ずつ時期をずらし選択できるようにしてほしい。
- ・ 大学の先生も急に要請があって日時を入れられたみたいでした。もっと十分に検討してからの実施がよかった。
- ・ 夏季休業中に行なわれたのはよかったが、土・日にあるのは、いかななものかと感じた。
- ・ お盆の受講であったが、駐車場も開放されず、食堂も休みで非常に受講しづらかった。
- ・ 部活の県大会と日程が重なるため必修の受講が難しい。
- ・ 研修として参加したが、自分の希望ではなく半強制なのに研修とすることに疑問を感じた。土曜日や19:00前までの講習、もし、往復時に何か会った時、どうなるのか。そして、何より日程的にもきつかった。
- ・ 夏休みしか講座を受けに行く時間的余裕がないので仕方ないと思う。
- ・ そこしかないと思う。学校は自習にできないので。
- ・ 課業期間中の平日にしてほしい。
- ・ 夏休み前の講習が、年休だった。夏休み中の研修にしてほしい。
- ・ 「研修」が認められるのであれば夏季休業中の平日でもよいのではないかと。土・日・お盆にかたより過ぎるのはよくないと思う。
- ・ 配慮に欠けていると思う。
- ・ 土・日に受講する内容なのか？冬休み等もしなければ受講は厳しいのでは？申し込みの分は全て受講できるように対応した方が良いのでは？（会場を分けるなどして）
- ・ 免許更新に関する内容で現職を受講させる以上は平日開催も視野に入れるべき。
- ・ 授業に支障がなく受講できて良かった。
- ・ 九州大会の運営と重なり、他の先生方に迷惑をかけた。人数制限の関係で奄美大島までの旅費の負担が大きかった。
- ・ 夏季休業中でないとキツイと思う。お盆は、大学の駐車場が開いていなくて不便だった。

- ・ 必修が連続して実施されなかったのも、離島からの受講は費用がかかる。9月に入ってから研修は、学校行事があり受講できないものもある。
- ・ 期間としてはおそらくこの夏季休業中にしかできないと思います。大学の方も受け入れるのが大変そうでした。できれば、日程を分散させるのではなく集中させてもらえるとよかった。
- ・ 夏季休業中は、他の認定講習と重なり、学校での研修も多いので日程をとるのに苦労した。
- ・ 構わない。
- ・ 日程については、夏季休業実施がよいのであろうが、土日は望ましくない。また、講習日が分散していたので、離島の先生方は大変苦労したと聞いている。
- ・ 日程的に厳しかったり不満があっても受講せざるを得ない状況だった。(期限とか制限がなければ別だが)
- ・ 私は、披露宴前で非常に困った。しかし、10年研と重なるかも・・・と思うと旅費を出してでもとっておきたかった。
- ・ 夏季休業中はいいが、土日、お盆はゆっくり休みたいので、避けてほしかった。
- ・ 土日にあったのは驚きました。
- ・ 夏季休業中は仕方ありませんが、土日、お盆はいただけません。
- ・ 部活の大会に引率できなかったり、家族との時間が減ってしまった。
- ・ 不在中に学校に迷惑をかけない・・・という面でいいと思いますが、大学から遠い地方に住んでいると、かなり大変です・・・。(朝5:30に家を出ました・・・)
- ・ リフレッシュのための休日を、受けなければ失職の可能性のある講習でつぶすのは身心共に負担を強いられる。平日の研修が出張扱いが良い。個人的なことで済まされる意味合いのものではないと思う。
- ・ 9月の土曜日に開設されるものが多かった。9月は特に行事が多く、土日に仕事も入っており、負担が大きかった。
- ・ 大学側の日程調整も大変であるのは分かるが、土曜やお盆は開設しないでほしい。
- ・ 土・日やお盆はさけてほしいですね。かといって日常のどこかというの、どうかと思う。するのであれば夏季休業中に！
- ・ 夏季休業中が最もゆとりがあってよいと思う。冬季休業中の開設もあるとよい。土日は家庭の主婦は、平日にできない仕事がいっぱいあって無理がある。
- ・ 時期については、大学にお願いしているのでやむをえないと思う。
- ・ どの日、どの時間、どの期間でも、私は、生徒を最優先させたいです。部活動、生徒指導は、土日お盆も実際は関わりのないのが学校現場の実状ではないでしょうか。また、土日お盆ぐらい家族や自分の人生・生活も考えられる人間らしい生活も送ってみたいものです。
- ・ 土日はさけてほしい。平日にやるべき！
- ・ 夏季休業中にあると、学校の授業を心配せず受講できるのでよかったが、土日は大変だった。
- ・ 制度そのものに反対ですから、時期は関係ありません。
- ・ 夏季休業中の7/22～8/26までの間に、とびとびで計7日間鹿大に通うことになりました。もつと日程がつまって集中的に講習があればよかったと思うことでした。
- ・ お盆に受けたが、主婦としてとても大変であった。
- ・ 不満
- ・ 夏季休業中だったので受けやすさはあった。
- ・ 研修ではなく義務化しているのであれば、出張にしてほしい。

- ・ 拘束される感覚があり、自分の計画、勤務、部活動などへの影響が大きく、迷惑といえば迷惑だった。
- ・ 集中的に実施してほしい。とびとびだと精神的にとっても疲れた。
- ・ 大学側も時間や場所の確保ができにくいと感じた。お盆期間中にあることは、家族やその他の人々にもなかなか理解されなかったので困る。
- ・ 仕方がないかなと思います。
- ・ 帰省を日帰りにせざるを得なかった。
- ・ 夏季休業中での研修扱いは大変ありがたかった。
- ・ この時期が良いと思う。日曜は研修と認められないのは疑問。
- ・ 授業を自習にすることなく夏休みに受講できた。
- ・ 県総体（部活で3年生が最後になるかもしれない大切な大会である）の前日や当日に行なわれたため、子どもに迷惑をかける形となった。お盆であるため、受講してから帰省をし、家族や周囲に迷惑をかけた。
- ・ 帰省中なので、それと兼ねて行ったが、他の人の真剣さに圧倒された。（奄美会場）
- ・ やるのであれば、夏季休業中がのぞましいでしょう。
- ・ 今回は、土曜実施でしたが、講習前後で移動を行なうととてもハードでした。
- ・ 担任をしている教員にとっては、児童を自習にさせないですむので夏休みの開設は良かった。しかし、土曜日に実施もあり改善してほしい。
- ・ 負担が大きく、他の自主的な研修会にはほとんど参加できなかった。
- ・ 夏季休業中等は計画が立てづらい。
- ・ 夏季休業中に行なわれるのはよいが、土・日、お盆等は、それぞれの事情にもよるだろうが、自分だけでなく家族にも負担をかけることになり、とても困った。
- ・ 大学に近いので午前中職員研修（12時まで）その後移動し、昼食もちゃんととれない状況だった。（午後1時始まりのため）
- ・ 夏季休業中については、研修としてとることができたので別に問題はない。お盆の時期に必修が組まれているのは、人によって大変だったかもしれません。
- ・ 学期途中の開設科目については、受講が難しい。ことに離島は天候に左右され日程通りに移動できなかつたり、学校行事の関係で日程が組めないことがある。
- ・ 子どもたちに支障のない時期（夏季休業中）はよいかなと思う。普段の土・日は家庭生活にしわ寄せがくるのでやめてほしい。
- ・ 夏休みに、特に普段できないことを進めたり、2学期の準備をしたり、リフレッシュしたりというのにあてていたのに、それがあまりできなくて苦痛だった。時間を返してほしい。こういう更新の強化をすることより、授業の研究をする時間をたっぷり与えてほしい。
- ・ 夏休みしかないというのが、なぜなのかと思った。講習の多くが休業中なのはおかしいと思う。
- ・ 学期中じゃなかったからよかった。お盆の講座だったが、予備講習だから仕方ないと思う。
- ・ 教員免許取得時には、更新制度はなかったものが、今年から実施ということは、一個人が所有する他の免許（運転など）とはちがって、勤務と同様、費用も負担すべき。そうでないなら今年、免許取得者から実施。
- ・ お盆時期は学食もなく昼食の準備も大変であった。
- ・ お盆に予備講習があったり公共の交通機関を利用することとなった。（車で行けなかった）
- ・ 小規模校のため、各種部会（教科研修会、担当者会）や代表出勤も多く、免許法認定講習とも重

なったため、せっかくの夏休みが、「多忙感」を感じた。お盆は、さけてほしかった（大学の講師の方にも悪いと思った）

- ・ なんで、こんな日にといいながら、無料、後のことを考えて、仕方なく受講しました。
- ・ 予備講習を優先すると自分が学びたかったことを学べないこともあった。特に、夏季休業中は、様々な講演会があったので、参加できずに残念と思うものもあった。
- ・ お盆の講義はしないほしい。
- ・ 土曜日に開設するのは、よくないので、来年度からやめてほしい。必修が土曜日に1回だけ入っており、行くしかなかったが、今後考えてほしい。
- ・ 夏季休業中は、学校も抜けやすく、よいと思ったが、土・日・お盆は、休養する時間がなくなるため、やめてほしいと思います。（実際、希望する科目がお盆にあり、帰省等で受けられませんでした。）
- ・ 夏季休業中の方が受けやすい。（お盆は食堂が開いていなくて食事が不便でした。）
- ・ 大学の予定もあり、仕方ないのでは。
- ・ 授業と重ならなくて、この時期でよい。
- ・ 夏季休業中はよい。
- ・ お盆に家族との予定ができなくて寂しかったです。教えて下さる先生方もお盆は大変だと思います。
- ・ 夏季休業中は止めて欲しい。
- ・ 講座の開講日がバラバラで夏季休業中の予定がたてられなかった。もつと集中して行なってほしい。（集中講義のような形で短期間で実施してほしい）
- ・ 夏期休暇がとれなかった。お盆に実家に帰れなかったのが一番不満です。
- ・ お盆や土・日はやめてほしい。夏季休業中の平日がよい。
- ・ 平日の授業のある日は、受講できないのでこの期間でよい。
- ・ 県大会や自分の子どもの行事と重なったりで、受講できないことが多かった。また、うちは2人とも受講対象だったので、やはり、子どもの世話等で可能・不可能が出てきた。
- ・ 仕方ない。

6 今回予備講習を受講された感想を書いてください。（何でも結構です！）

- ・ 大学の先生は一生懸命講義されていた。
- ・ 説明がとても難しかった。
- ・ 養護教諭の選択講座が充実しておらず、また、日程が8月の前半・後半の各半日だったため、離島からの参加が難しく、まとめて受講できる他県を希望しました。実技以外では、講義を聴くという内容だったので、受身的に感じ、期待していたほど満足感を得ることはできませんでした。
- ・ 講習を終えて、すぐにテストという科目もあったので、せめて5分ぐらいは資料を見直す時間がほしかった。
- ・ 離島で開催される選択講習を増やしてほしい。自分の教科の講習が奄美ではなかったので・・・
- ・ 離島なので来年度から2年間で受講するとなると何度も鹿児島大学へ足を運ばなければならず、金銭的に大変。夫婦とも対象なので、その間、幼児の託児場所を考えると不安（鹿児島へ連れて行ってどこかにあずけるか？）
- ・ 大学の教授の方々も初めてのことで戸惑いがあったようだが、熱心に講義されていました。講習

は研修としては、とてもいい機会だったが、免許が絡んでくると意欲も萎えてしまう。鹿屋から鹿児島まで行くのは遠い。体育大で実施できないものだろうか。

- ・ 近年の教育改革の動向や学習指導要領改訂も大変勉強になりましたが、職種が養護教諭という私たちにおいては、保健室登校や不登校などの対応について学習できればいいなと思います。
- ・ 必修の1日は種子島会場の場合、どうしても1日宿泊しないと時間的に無理な日程であったため、前日年休で宿泊せざるを得なかった。
- ・ 内容的に見ると20年目にしてよい刺激となるところもあり良かった点もあるが、評価テストがかなり圧迫感があり苦痛だった。
- ・ できれば必修などは、1日にまとめてほしい。仕事場から午後出ても、午前は無駄になる。逆も同じ。
- ・ どうせ受けないといけないから。
- ・ 大学側へ文科省からかなり細かい指示があったようですが、教授によっては、あまりこだわらず講習をひらいてくださったようで興味深い内容でした。しかし、今年の予備講習をもとに一層厳しい指示がされてくると本当につまらない研修になりそうです。(テーマを見るとすごい「教職の使命と役割」とか)
- ・ 特にないが、大学の先生方が大変だろうと感じた。ためになる内容は多かったが、実践を意識した内容が少なかった。
- ・ 各講座は定員に余裕を持たせてほしい。
- ・ 鹿児島市内では、ほとんどの講座で定員オーバー、希望通りに受講できない方が多かったと思われる。種子島会場の必修受講者の半数が、島外の方だったことに驚いた。
- ・ 30時間受講しなければならないのに対しては、講座数・定員が少ないと思う。
- ・ 当初のIDなどの手続きが、うまくいかずに苦労した。予備講習なのにあわてて受けてしまったという気がする。
- ・ 私の受けた講座は、現在の仕事に大変役立つものもあったが、全く関係のない(興味のもてない)講座を受けざるをえない人もいたらしい。(希望する講座がいっぱいで)大学の講師の先生方も夏休みをつぶしての講座で大変だったと思う。今後個人の費用も出てくるらしいが、国としてもかなりの予算を使うのでは？それで内容がこれでは・・・やる意味があるのか疑問である
- ・ 講師によって中身が偏った思想の人がいる。
- ・ 今年は、12時間分だけを受講した。講義は、日々の授業に即生かせるというものばかりではなかったが、教養を深めるという意味では興味深い内容であった。
- ・ 一番近い会場が鹿児島大学でしたので通うのが大変でした。もっと近くに会場があればいいのと思いました。(川薩地区教員)
- ・ 教師として刺激になったことは良かったのだが、朝9:00～夕方6:50までの講義があるなど、一日でつめる限りつめるという感じの講義が多かった。
- ・ とにかく会場(鹿児島大学)が遠いことと、鹿児島大学のキャンパス内に駐車場がないため周辺の駐車場に停めることになったが、費用の問題だけでなく、その駐車場の数が不足していて困っていた人たちもいたようだ。
- ・ 説明もなしにいきなりインターネットでの申し込み・・・受講の申し込みすらできませんでした。しかし、2科目ゆずっていただいて受講することができました。このような制度ができるなら全員受講できるようにすべきです。(例え試験的に今回実施するとしても)また、必ず自分が選択した科目を受講させてほしい。また、職種に合った受講内容にしてほしい。(養護の先生が科目の指導

案を作成する？内容はどうか) 専科の先生がいきなりある学年の主要教科書を用意といわれても専科の先生は持っていない。何もかもがメチャクチャでした。試験内容に、穴埋め式は本当に必要でしょうか？大人数を収容するのにクーラーも効かず・・・駐車場もなく・・・昼食がとれないこともありました。

- ・ 実際の授業に役立つ内容もあったが、そうでないものもあり、もっと実践的な講習にしてほしいと思った。
- ・ 大学の教授の方々、お疲れ様でした。
- ・ 短時間（2～3時間）で内容が多すぎた。
- ・ 日程通りではなく時間外で評価テストをするはめになった。本部と大学側の連携があまりできていないと感じた。
- ・ 大学の先生方も疑問を感じているようだったのですが、講師側に疑問を抱かせる研修を受講する意味があるのかなあ・・・と思いました。
- ・ 新学習指導要領について具体的に分かることができた。
- ・ せっかく受けるのであれば、もっと現場で生かせるような・・・
- ・ 予備講習ということで仕方ないかもしれないが、希望しても参加できないということがあり不満が残る。（鹿児島の場合は、先着順ということで・・・）
- ・ 選択（18時間）を3日間で受講したが、1日は朝9時～19時までの日程があり、かなり疲れた。
- ・ 公共交通機関を利用できない人は、自家用車を利用し大学近くの有料駐車場を使用して受講する者もいた。（校内乗り入れ禁止のため）
- ・ 管理職から事前報告がなく受講できなかった人の話を聞いた
- ・ 講習を受けるその席に座ること自体が大変でした。市内の交通ラッシュを考え、遠方から公共交通機関を使い朝5:00の列車で参加していましたが、この列車が事故でもあり講習に出席できなければ、必修の場合は、また、来年同じものを受けなければならないシステムに精神的に疲れました。
- ・ 夏季休業中で研修扱いですが、夏季休業中は生徒のものであるし、こんな機会でもなければ大学で研修できなかったと思うのでよかったと思っている。
- ・ 時間とお金を使った分の効果はないと思う。
- ・ 先着順とかではなく、希望する者が希望した講座を受講できるようにしてほしい。
- ・ せっかく受けるからには、自分の指導力向上に役立てたいと思うので、現場のニーズに合った内容を工夫してほしい。
- ・ 新指導要領についての内容は、とても自分たちにとってはよかった。
- ・ 駐車場が校内に停められなかったので、かなりお金がかかった。
- ・ 学べたこともたくさんありましたが、しかし、疲れも……。こんな講習よりももっと必要なことがあるのではないのでしょうか。
- ・ 講習に振り回された。申し込みから手続きが終わるまで。講習自体必要ないと思います。そんな中で講習内容も現場の職務に必要なでない内容だったりすると、講習を受けている時は、苦痛で頭にも入らなかった。
- ・ 普段研修会に参加したりするので、それと同じようなものだと感じた。大学側もどのような内容をすればよいのか戸惑っているような感じであった。
- ・ 新鮮でいい機会だったと思う反面、負担が大きかったように思います。
- ・ 生徒に還元できるものはなく無意味
- ・ 教科等について、もっと人数や回数に幅もたせて受講者の希望に応じてほしい。

- ・ 50 歳を過ぎたら体の方もいろいろと都合があるので考慮してほしい。
- ・ 席が少なかった（狭かった）
- ・ 時間も午前と午後別の講習の時は、昼食をとる時間が少なかった。
- ・ 駐車場の問題。
- ・ 普段とは違う角度からの話が聞けて興味深かった。一部専門的にすぎて、これでいいのかなと思うものもあった。
- ・ 必修等は内容が似ていた。新学習指導要領についてが多かった。
- ・ 大学の先生の話聞く機会はあまりないので意外とおもしろかった。
- ・ 受講できなかった友人がかわいそうだった。全員受けられるようにすべき。
- ・ 今回、周知が遅れたりインターネットでの申し込み開始が勤務時間内だったりで、申し込みができなかった人が多かった。受けなければならないのに、申し込みができない状態はよくないと思う。また、大学に近くて交通の便がよい人はいいが、地方在住の人たちにとっては、講習自体、大変なものになっているのではないか。大学には駐車場もなく大変困った。また、申し込み手続き、連絡があまりよくなかった。特に、決定連絡が1週間前ぐらいであった。
- ・ 形式的な内容でこれからの教職を続けていく上で役に立つ内容とは思えなかった。
- ・ 講師によって内容の差が大きく、大変興味深くこれからの授業か自らのスキルアップに生かせるものもある反面、以前大学で受けた講義となんら変わらない、理解するにはかなり困難なものもあった。
- ・ 講習としておもしろいものが多かった。だが、これらを中学校の授業などに生かす場面はほとんどないと感じた。単なる免許更新ならば、半年ぐらいの期間を設けて講習をうけられたらと思う。
- ・ 受講したためになったものもあったが、講習によっては短い時間で盛りだくさんの内容のものもあり、消化不良の感じも受けた。
- ・ 受講してすごく自分のためになる講座もあった。ただ、受講してすぐに、試験だったので講座によっては大変だった。
- ・ 対象者全員が期限までに講習できるかどうか不安である。
- ・ 本当に必要でしょうか？現在の教育事情に関するもの。授業で生かせるもの等がほしい。
- ・ 必修は、1 テーマ 4 時間で講義の最後に記述式の評価テストがあったが、どの程度可否に関わるのか分からないし、無理があると感じた。
- ・ 今回の予備講習は、申し込み受付開始日までに管理職からの説明がなく他校の友人から知った。知った時には、すでに定員に達している講座ばかりで選択 1 つしか申し込むことができなかった。学校によって説明があったりなかったりは不公平だと思う。予備講習以前の問題だと思う。
- ・ 労力の割には、あまり役立たない。
- ・ 大学の先生方もとまどっておられた。大学がとまどっているのに、いい講習ができるわけがない。
- ・ 教科の内容は役立たなかった。
- ・ 最新の教育情報、自分が興味をもっている科目等、比較的希望通りの科目をとることができたのでよかった。（申し込み開始日の午後 7 時に申し込んだ）どの科目もレポートを書く時間が設定されていたので、それに対する大学側のコメントを評価としてもらいたい。「認定」という結果だけではものたりない。
- ・ 同級生や同期と情報交換ができてよかった。
- ・ 年齢順でよいのでは？
- ・ 管理職（全職員）が受講するべきでは？

- ・ 必修「最新の教育事情」は勉強になった。ここ数年免許法認定講習会の受講や 10 年目研修を経験しているが、予備講習の選択科目の内容は、同じ内容のものがあつた。大学の負担、個人の負担を考えて、講習会、〇〇年目研修、更新講習等の単位は代用可にするべきである。
- ・ 部活動顧問等は大会引率にも支障が出ることも予想され、生徒を犠牲にしてまで受けなければならぬ苦しさがある。教員定数が少ないところなどは、現場の負担が大きい。
- ・ とにかく現場で生かせる内容を盛り込んだものが大切である。現職が研究修養する場であるのが、本来の目的ではないか。
- ・ 難しい話もあつたがためになる話もあつた。
- ・ 今の仕事（障害児教育）についての知識や技能が大変不足しており、是非研修の機会がほしいと考えていたところ、筑波技術大学での 2 日間（12 単位）の講習がありなんとも言えないほどありがたく仕事にプラスする内容でした。費用はかかりましたが、それ以上のものが得られたと感じております。
- ・ ただ、講座を聞いて何も板書しない方もいらっしゃった。内容も現実とかけはなれたものも多かった（大学の問題と思うが）
- ・ 19：00 までの講座もあつた。
- ・ 特にためになったとは思えない。自ら選んで受けた内容というよりは、定員に空があるところだったので。
- ・ 講習受付開始は、県内同じようにしないと定員に達して受講できない。インターネットの申し込みは、少々めんどろだった。（毎日パソコンで確認しなければならず）
- ・ 必修の講習については、約 2 時間半の講義の後 30 分の試験であつたが、果たして意味があるのかなと思った。受け入れる大学側もとても大変そうでした。
- ・ 養護教諭に必要なと思われる内容があつた。（必修）難しかった。
- ・ 免許制度は、メリットよりデメリットの方が大きいと感じる。必要ない制度だ。
- ・ 今年は 10 年目研と免許更新を受けました。休み中はほとんど研修で、慌しく過ぎました。（せっかく得たものを、次から次へ・・・という感じになってしまいました）
- ・ 大学時代に学習したことを 20 年以上経って同じように試験されても、正直つらく、せめて内容が詳しくわかれば予習もできるものが、そういう時間をいつ作るかという問題もあり、認定をもらえるまでは不安の日々が続いています。
- ・ 疲れるしすごくストレスを感じた。
- ・ できるだけ今回終わらせようと受講したが、忙しさもあつた。内容によっては、小・中・高と分けた方がよいものもあつた。
- ・ 無理、無駄が多い。
- ・ 最初の申し込み等の作業が時間的にも処理も手間がかかった。受講終了 1 ヶ月以上経過しているが、まだ、成績が発表されていない。当初は 3 週間といていたのだが。
- ・ 必修は、4 つの講座をすべてうけないといけないということであつた。一つ都合の悪い日程があり、今年度は見送った。受け入れ体制がとても窮屈であつた。日程も。
- ・ 8：00～受付 9：00～12：30 講習のために自宅発は、6：20。講習終了後昼食をとり、J R 利用で、自宅着は 16：00 ごろ。半日の講習とはいえ、実質 1 日かかりでした。半日の講習が多いのは、体力的にも金銭的にも負担が大きいです。
- ・ 選択は、私たちが学習指導をする上での見識を深めるためのものかもしれませんが、内容が高度すぎるものがありました。

- ・ 評価テストというか、必修は終了したのだが、それから後のことがよく理解できていません。
- ・ 会場に行くのが大変だった。自家用車の乗り入れができるととても楽なのと思った。その分、余計に時間がかかった。すごく時間いっぱい日程なので、精神的にも疲れた。
- ・ いろいろな考えかたはあるのだろうが、私は、これが役にたつのかなとかんがえさせられることが多かった。
- ・ 大学はインターネットでいちばん丁寧な対応のところを選びました。離島で勤務する私にとって、宿泊代も旅費も今後まだまだこの悪制度が続くなら、受講料も支払わなければならないのなら、実のある講習を受けたかったからです。世論への言い訳のために、目の前にいる子どもや自分の生活が後回しになるこの制度に反対します。
- ・ 講習自体は興味深いものであったが、その後、直後のテストをするというのは「どういうものだろうか？」と疑問に思う。
- ・ テストの必要性は感じなかった。
- ・ 1科目しか受けられなかったが、講義あり演習ありで中身は充実していた。しかし、冷房の効いた部屋に1日中いたので(9時から16時)終わる頃には、体が冷え切って頭が痛かった。駐車場のこともあり、バスで行ったが鹿大内の駐車場を開放してもらえるとありがたい。
- ・ 初めてのことで講義される大学の先生方も戸惑いを隠せないというのが実感でした。現場の子ども達に還元できるような自己研修や教材・教具の製作などの時間に当てられたらよいのと思う。
- ・ 合計30時間を縮減するか(10時間)、または、完全撤廃。
- ・ 朝9時スタートはつらい。(鹿大周辺のラッシュに巻き込まれるため)
- ・ 久しぶりに恩師や友だちに会えてよかった。
- ・ 更新の目的が「教員としての必要な最新の知識技能を身につけること」とあるが、この講習をうけたことによって身に付くとは思えない。
- ・ 希望した講習を受けられなかった。選択は、現場で全く役に立たない内容だったので、無意味だと思う。受けた講習は、あっという間に予約が埋まり、しかし、結局予約だけで申し込みをされなかった先生がいて、空いたままになっていて、かなり不満に思った。
- ・ (受ける側ですが)大学側もかなり困惑してました。一人の教授が、「こちらもいい迷惑だ」とボヤいていました。最先端の話を聞けるのは、とてもよかったですが、この制度でいったい誰が得をするのか、疑問が残るような気がします。
- ・ 永久的に継続できる制度とは、到底考えられない。過大山積の制度。
- ・ 内容的にはいいものが多く勉強になりました。
- ・ とても勉強になったが、果たしてテストに何の意義があるのか分かりませんでした。
- ・ 講習が終わってすぐテストは、かなりきつかった。講習の内容が、実際に生かされるのかどうか・・・というものもあった。
- ・ 本当に形だけのものであった。最後に試験を受ける必要性についても疑問に感じた。
- ・ 申し込み初日が平日で、混乱した先生方も多いと思う。私自身は、日曜参観日の振替休日であったので、たまたま希望通り申し込みができたが、希望しているにもかかわらず定員で締め切られた先生方の方が多いようであった。早い者勝ちはいかかなものか。
- ・ 特別支援の中種子の講座を受けましたが、たくさんの人に特別支援に関する内容を知ってもらふということから考えると鹿児島会場がいいのでは。概論も多いので、県特研等の研修会と振り替えられてもいいかな。
- ・ こんかい受講した講座の内容には、不満はなかったが、他の講座を受講した人の話を聞くと評価

の仕方も、それぞれ異なっているようで、来年度以降どのような実施がなされるのか不安である。また、必修科目が3時間ずつ4日にわたって実施されるのも、全てを受講するため日程調整するのが難しいので、せめて、2日でおさめてほしい。

- ・ 現職の教員相手に大学教員が講習を行なうことは、やりにくいと思われる。(このことを言われる講師もいた。現在進行中の)現場のいろいろな問題や苦悩に対応していない。
- ・ 時代の流れ、世間の目もあり仕方がないのかなと思う。(大学の講師の先生方は気の毒だと思った。)
- ・ 自分が受講したい講座でなく、定数人員により受講できる講座だったため満足できなかった。必修講座は受けられなかったか、間があいてとびとびに講座があったと聞く。午前だけ、午後だけというのではなく移動を考えると集中して実施してほしい。
- ・ 車の乗り入れができずに不便であった。講堂が狭く、1日受講するのがきつかった。
- ・ 講集を受講したので部活動ができず、休みにせざるを得なかった。他の部活は練習をしているのに、なぜ?という声が、親や生徒から出て、とても辛い思いがした。部活と講習のどちらを取るかの判断が生じた。ということは、講習の「しわ寄せ」が生徒に出た。
- ・ 学校によっては、教育委員会から該当者に勧めるように連絡があったり校長からきちんと説明を受けたところがあったと聞いている。通知文で実施されることは知っていたが、ネット申し込みのことは後で知った。申し込みを知っていれば単位を早く取りたかったので、公平ではないと思う。
- ・ 自分たちはもちろんだが、鹿大の教授も困惑していた。そんな中で講師を受けている自分の立場がおかしかった。おそらく大学側もおかしいと感じていたはず。駐車場もなく遠方の自分たちにとっては非常に大変。
- ・ 確かにためになりました。ないよりあった方が勉強になるのは確かです。しかし、これは、本当に大切な事なのか疑問に思いました。今教員に必要なのは、自分たちの本業に対する力量を高めるための時間ではないでしょうか。職業を続けるための研修があえて必要でしょうか。日々の研究修養の時間を全員が生み出せていれば、子どもの学力も定着してくると思います。今私たちに足りないのは、じっくり取り組む時間です。
- ・ 現場で直面している課題以上に役立つものは難しいのではと思う。特別支援の講習を種子島会場で受けたが、役に立つものであった。しかし、仕事上のことなので、旅費の裏づけは必要だと思う。
- ・ 非常勤講師をしているので、比較的ゆとりを持って受講できた。正規の職員の方々は、日々忙殺される中で、30時間の受講は大変だと思う。また、システムもよく分からない部分が多く、今後、本格実施されれば、かなりの混乱が予想されると思う。※我々期限付きは、ほとんど研修もなく、勉強になった部分もある。また、参加費用についても、自己負担は免れないのではと懸念される。予算要求の線引きは、どこでされるのか。
- ・ とにかく定員が少ないため、希望する人も受講できなかった点は、問題です。
- ・ 駐車場がなくコインパーキングを利用したり会場がよく分からず、さがすのに時間がかかった。講師の声が不明瞭でよく聞き取れない講習もあった。
- ・ 駐車場も整備されておらず会場も窮屈で、見切り発車もいいところという感じがした。講師の先生も気の毒にと思った。インターネット申し込みも問題あり。
- ・ 経費がかかる。無駄が多い。
- ・ 免許更新とどのようなかわりがあるのか分からなかった。形だけで、これを受けたから「更新の資格が得られる」というような内容ではなかった。
- ・ 7月～8月にかけて4回受けた必修の成績が、9月下旬になっても、まだ、出されない(選択は、2～3週間のうちに出了れた)

- ・ 開設決定、受講決定のメールが 10 日位前に送られてきて、予定が立てにくかった。何もかも連絡が遅い。
- ・ お盆の 13～15 日に 2 回講座があったが、学生食堂も付近の食堂も、どこも開いてなく昼食がこまった。駐車場も開放してほしい。
- ・ 手続きを考えてもらわないと、今後学校が機能しなくなる。
- ・ インターネットでダウンロード、申し込みと、わずらわしかった。
- ・ 費用がかかって大変だと思う。
- ・ 講座対象が異なるのに、ほぼ同じ内容の講座で 1 日ムダだった。
- ・ 選択で自分の専門の教科であり学生の頃を思い出すことであったが、全部受講するとなるとどうであろうか。
- ・ 奄美会場での受講をためらったが、旅行のついでにとわりきることができれば問題なし。鹿大対象の講習は県内に勤務している教職員のみの対象としてほしい。
- ・ 受けたと思う講習が受けられ、大変勉強になったことは、とてもよかったと思う。他の校種他県の先生方との意見交換も貴重であった。
- ・ 内容的にはためになりましたが、自分の教科とは無関係。
- ・ 内容に対する問題はない。大学側も改善点があればアンケートに書いてくださいとのことで前向きだと感じた。
- ・ 小学校向きの内容が少なく、あまりためにならなかった。
- ・ 受講するのはいいが、評価テストがとても苦痛だった。
- ・ 鹿大の教授の都合で仕方ないと思うが、受講日が、8/20 午後から、8/27 一日、9/6 午後から、9/27 一日と、飛び飛びになっていたのも、夏休み中の計画がいろいろと立てられなかった。
- ・ 意味を感じなかった。とらざるを得なかったのも、受講した感がある。内容的にも意味があまりあるとは思わなかった。
- ・ 不満はいっぱいありますが、本当に実施するのであれば、民間研究団体の学習会等も、時数にカウントしてほしいです。
- ・ 講習の最後に評価テストがあり、負担を感じる。会場が家から遠く自家用車が使えない点が、不便で困った。
- ・ 必修を 4 日間ではなく、2 日間で行なってほしい。受けたかいはあったと感じている。
- ・ 教員が研修を受けることは大切だし、すすめられていることであり、その機会も多く設けられている。しかし、今回の免許については、現状を整備し、不都合が出ることへの考慮もないままの実施となり、憤りを感じる場面が多くあった。部活動は県大会を目標に頑張ってきて、その日に講習など行けるわけもなく、他の日程では県外への試合と重なり、やはり、受講できず。夏休みなんだから、どうせ教師は暇なんだと思われているんだなあと、くやしい気持ちでいっぱいでした。
- ・ 講師の先生がよく準備された内容で、とても熱意を持って講義してくださったので、とてもよかった、ただ、まだ、たくさん受けるわけで、無駄な時間がなければよいのだが。
- ・ 計 7 日間は多すぎる。
- ・ 大学の先生も何だか分からないようであった。とりあえず、単位はあげるから e t c 個人によって認識の差が大きい。講習内容と実態が合わない。
- ・ 手続きが大変面倒であった。
- ・ 中体連県大会等との日程調整はできないのか？
- ・ 学校では、何の役にもたない。

- ・ 育休中だったので、久しぶりに勉強・試験ということで受講前は不安もあったが、同級生や知り合いと会えてうれしかった。また、興味をひかない講座もあったが、また、受講したいと思うような講座もあった。
- ・ 他県からきた人のせいで、必修が受けられなかった。
- ・ 最近の教育事情を知ることができてよかった。改めて勉強することの大切さが分かった。会場での配慮もしてくださり、気持ちよく受講できた。
- ・ 管理職が受けるのが一番ふさわしいと思いました。
- ・ 駐車場が不便
- ・ 午前と午後と別々の講座が重なり 1 日受講する時、あいだに時間がなかった。(12:30 に終わり 13:00 に次が開始)
- ・ 養教・栄養教諭は、とる科目がない！
- ・ 大学の先生方も苦勞されているようで、かわいそうでした。
- ・ 近隣に住む先生はよいですが、遠方の人間は移動時間、手段など不便な面もありました。(大学の駐車場がなかったのも)
- ・ 無料ということで受けたが、申し込み初日で必修は定員になったと聞いている。それ以降に説明が行なわれた学校（特に地方）もあったようで、公平にするべきであったと思う。(鹿児島市内はきちんと、その前に説明がなされているようである)
- ・ 交通手段（公共）が充実していないので、朝、一番の始発で講義に間に合った。余裕が欲しい。(南薩)
- ・ 正直、どきどきしました。特に、テストが行なわれるということで、どすればよいのか考えました。たくさんの選択科目の中で 3 教科のみを選ぶのは
- ・ それでよいのかとも思いましたが、あれこれ選ぶより、じっくり学習ができたと思う。

7 勤務処理について、県教委は「研修」としていますが、現場での混乱はありませんでしたか。

	項目	人数
1	研修で認められた	139
2	研修以外の勤務処理→ (年休・出張・特休・別勤)	4
3	勤務処理でトラブルがあった(例えば、午前中は学校に出勤して午後だけ研修など)	3
	未記入	5

2) 出張 1 年休 1 2 は〇なし

【具体的に】

- ・ 午前中は学校に出勤して午後だけ研修
- ・ 移動は年休
- ・ まだ、最終的な処理は終わっていないが、離島における移動の扱いが年休か研修か判断を待っている。
- ・ 来年度は年休処理かもと言われた。
- ・ 研修だったので毎回報告書を提出！受講の度に試験を受けたのにできれば免除してほしい。
- ・ 会場から学校が遠いので午前中年休、午後研修で処理
- ・ 認められたが校長判断だった。
- ・ 大学に設定されている時間帯だけ「研修」を認め「午後は研修報告を書けないでしょう」と言わ

れ、午後から年休にしたこともあった。

- ・ 半日のみ受講であれば、もう半日は出勤や年休処理です。
- ・ 移動は年休だった。
- ・ トラブルではないが、研修にすると報告書作成が待っているの、年休処理にした。
- ・ 研修で認められたが、会場が種子島だったので、移動中（午前中は年休で、午後だけ研修）は年休処理でした。

8 予備講習参加のためにかかる費用について教えてください。

（講習会場へ行くための交通費や宿泊費等の総額を概算で書いてください。）

費用	人数	費用	人数	費用	人数
負担なし	10	5000 円～10000 円	28	30000 円～40000 円	5
1～999 円	6	10000 円～20000 円	15	40000 円～50000 円	5
1000～2000 円	23	20000 円～25000 円	5	50000 円以上	16
2000 円～5000 円	23	25000 円～30000 円	6	未記入	11

費 用	人数
負担なし 0 円	10
1～999 円	6
1000～2000 円	23
2001～5000 円	23
5001～10000 円	28
10001～20000 円	15
20001～25000 円	5
25001～30000 円	6
30001～40000 円	5
40001～50000 円	5
50001 円以上	16
未記入	11

特徴的なもの

153

- ・ 始良小 45 鹿大＋種子島 4 万円（必修と選択の一部）
- ・ 始良小 45 鹿大 2 千円（必修と選択全てを受講）
- ・ 始良小 45 鹿大 2 万円（必修と選択全てを受講） 高速・駐車場
- ・ 始良小 55 鹿大 1 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 始良小 55 鹿大 1 千 6 百円（必修と選択の一部）
- ・ 始良小 55 鹿大 5 千 2 百円（必修と選択の一部を受講）
- ・ 始良小 45 鹿大＋種子島＋奄美 15 万円（必修と選択全てを受講した）
- ・ 始良特 55 鹿大 1 千 3 百円（選択の一部）交通費＋弁当代
- ・ 始良小 45 鹿大＋奄美 0 円（選択の一部だけ）

- ・ 始良小 45 鹿大+奄美 10 万円（必修と選択の一部）
- ・ 始良中 35 鹿大 2 万 4 千円（選択の一部だけ）
- ・ 肝属特 45 鹿大+奄美 6 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 肝属特 35 鹿大 5 千円（選択の全てを受講） フェリー・バス 3 日間
- ・ 肝属中 35 鹿大 1 万円（必修と選択の一部を受講）
- ・ 肝属小 35 鹿大 3 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 肝属小 45 他県 12 万円
- ・ 肝属小 45 鹿大 7 万円
- ・ 肝属小 35 鹿大 4 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 鹿児島小 35 鹿大 0 円（必修と選択全てを受講）
- ・ 鹿児島中 35 鹿大 320 円（必修と選択全て）
- ・ 鹿児島小 55 鹿大 2240 円（必修と選択の全てを受講） 市電 160 円×2×7 日分
- ・ 鹿児島小 45 鹿大 8 千円（必修と選択全てを受講）
- ・ 鹿児島小 45 鹿大 4 千円（選択全てを受講） 1200 円×3 回含む
- ・ 鹿児島小 35 鹿大+奄美 6 万円（必修と選択の一部）
- ・ 鹿児島中 35 鹿大+奄美 3 万 5 千円（必修と選択全てを受講）
- ・ 鹿児島小 35 鹿大+奄美 5 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 鹿児島小 35 鹿大+奄美 7 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 鹿児島小 55 奄美 3 万円（必修だけを受講）
- ・ 鹿児島中 45 奄美 5 万円（必修と選択の一部）
- ・ 鹿児島小 45 鹿大 2 千 5 百円（必修と選択全てを受講） 160 円（市電）×2×7 日
- ・ 鹿児島小 35 鹿大 6 千円（選択の一部だけ） 高速、ガソリン、駐車場 1 日 900 円
- ・ 鹿児島中 45 鹿大 7 千円（必修と選択全て） ほとんど駐車場代
- ・ 鹿児島特 35 鹿大+種子島 8 千 6 百円（選択の一部）
- ・ 鹿児島小 35 鹿大+種子島 9 千円（選択の一部だけ）
- ・ 奄美中 35 鹿大 4 万円（選択の全てを受講）
- ・ 奄美中 35 奄美+種子島 7 万円（選択の全てを受講）
- ・ 奄美小 45 奄美 5~6 万円（必修と選択の一部を受講）
- ・ 奄美中 35 奄美 5 千（選択の一部だけ）
- ・ 奄美中 45 奄美 2 万 5 千円（選択の一部） 知名~奄美（3 泊）
- ・ 奄美小 45 鹿大 5 万（選択の一部）
- ・ 奄美小 35 他県 5 万（選択の一部だけ） 養護選択講座が充実してなかった
- ・ 奄美中 45 奄美 2 万円（必修だけ受講） 徳之島→奄美会場
- ・ 奄美中 35 鹿大+他県 7 万 8 千 5 百円（必修と選択全てを受講）
- ・ 熊毛小 35 種子島 0 円（必修だけ）
- ・ 熊毛小 35 種子島 0 円（必修と選択の一部を受講） 自宅から 1 k m以内に会場
があったため
- ・ 熊毛小 55 種子島+他県 10 万円（必修と選択全てを受講）
- ・ 熊毛小 55 鹿大+種子島 9 千円（必修と選択の一部） 船往復 5300 円 家⇔鹿児島（新幹線）
1780×2
- ・ 熊毛小 45 鹿大 7 万円（必修と選択全てを受講） 7 回の往復船賃と宿泊

- ・熊毛小 35 鹿大＋種子島 1 万円（選択の一部）
- ・熊毛小 45 鹿大＋種子島 8 千円（必修と選択の一部）実家に泊まる
- ・熊毛中 45 鹿大＋種子島 4 万円（必修と選択の一部）
- ・熊毛小 55 奄美＋種子島 6.6 万円（必修と選択の一部）
- ・熊毛小 55 鹿大＋奄美＋種子島 12 万円（必修と選択の全てを受講）
- ・曾於中 35 鹿大＋奄美 8 万円（必修と選択全てを受講）
- ・曾於小 45 鹿大 2 千円（選択の一部）
- ・曾於中 45 鹿大＋種子島 1 万 5 千（必修と選択全てを受講）
- ・曾於小 35 鹿大 6 千（必修と選択の一部）
- ・曾於小 55 鹿大 2 万（必修と選択全てを受講）
- ・曾於中 55 種子島 5 万（必修と選択の一部を受講）
- ・川薩中 35 鹿大 1 万 4 千（必修と選択全てを受講）
- ・川薩中 45 鹿大 1 万（必修と選択全てを受講）
- ・川薩中 45 鹿大 7 千 5 百円（必修と選択全てを受講）
- ・川薩小 35 鹿大 2 万（選択の全てを受講）
- ・川薩中 35 鹿大＋奄美 3 万（必修と選択全てを受講）
- ・川薩小 35 鹿大 740 円（選択の一部） 1 日（バス・電車）
- ・川薩中 45 鹿大 2 千円（選択の一部）
- ・川薩小 45 鹿大＋他県 8 万円（必修と選択全てを受講）
- ・南薩中 45 鹿大 2 千円（必修と選択の一部）
- ・南薩小 35 鹿大 3 千円（必修だけ）
- ・南薩特 45 鹿大 1 千円（選択の一部）
- ・南薩特 35 鹿大 1 万 1 千円（必修と選択全て） 鹿大周辺の駐車場代 3 千円、
ガソリン・高速（加世田⇔鹿大 8 千円 7
回往復）
- ・南薩中 45 奄美＋種子島 7 万円（選択の全て）
- ・南薩中 55 鹿大 2. 万 4 千円（必修と選択全てを受講）
- ・南薩中 45 鹿大 5 千円（必修と選択全てを受講） 駐車場にとめたので安くつ
いた。
- ・南薩小 55 鹿大 1 万円（必修と選択の一部）
- ・南薩中 35 鹿大＋種子島 3 万円（必修と選択の一部）
- ・南薩中 35 鹿大 360 円（選択の全てを受講）

**9 1975 年(昭和 50 年)4 月 2 日から 1976 年(昭和 51 年)4 月 1 日生まれの方については、10 年目研修が
免許更新講習と重なる方も出てくることが予想されます。そのことについて、該当の方は、問題点や課題
がありましたら書いてください。**

- ・ ステップアップと重なっている。とても大変である。
- ・ 自分が受けた講習と 10 年目研修の日程が重なりと困る。
- ・ 似た内容のものをしなければならないのなら、一つにしてほしい。子どもと向き合う時間も心の
ゆとりもなくなってしまいそう。
- ・ 自分はステップアップ研修と重なり、申し込んでいた講座が 1 つ受けられなかった。

- ・ 対象者は多忙となると思われる。計画性をもって講座を選択する必要がある。
- ・ 10 年経験者研と免許更新が重なるのは、非常に負担に思っています。どうにか単位（時数）の振替ができるようにしてほしい。
- ・ 重なると夏休みは、とても大変になるのではと不安です。
- ・ どちらかを受ければよいとか・・・免除してもらえればありがたい。
- ・ 今回、わたしはずれたのですが、同僚の先生方はとても大変そうでした。夏季休業がきちんととれる形での研修にしてほしいと思います。
- ・ 忙しすぎ。また、女性は産・育休と重なっている人も多かった。
- ・ 講習と研修に追われることが予想される。その研修を講習の内容で補うことなどできれば。
- ・ 該当者は負担が大きく大変だと思う。
- ・ 大変でしょうが重なってもそれをレポート等に生かせるのでは・・・など、プラスに考えていけばよいのではないのでしょうか。
- ・ 重なってしまった場合、どうなるのか不安
- ・ 大変だが仕方がない。
- ・ 重なれば負担も大きく学校での仕事に支障がでると思う。
- ・ 大問題。今年 10 年目研修をされた方の話を聞くと、ほぼ夏季休業中にあったとのこと。今年のように講習が夏季休業中に集中して行なわれたら、ほぼ受講できない。
- ・ どちらかにしてほしい。特例等で重複がないようにしてほしい。
- ・ 遠隔地にいるから行ったり来たりで費用もかさむ。
- ・ 研修と講習が重なることもあるようでは・・・。
- ・ 免許更新で免除されるべきでは？
- ・ 同じような内容を 2 度もする必要はない。
- ・ 時間数が 30 時間でなければならないのか。必修だけとか他のセンターの研修などをこちらに回せないのか。
- ・ きっと大変だと思います。何か対策が必要かもしれません。
- ・ 10 年目研修と免許更新と重複した日程の場合どちらを優先させるのか？
- ・ 同じような内容の講義になるのではないだろうか。
- ・ 10 年研修も夏休みに集中して、研修が組まれているようなのに、免許更新講習も夏休みに実施されるとなると、全てを受講できるのか不安です。又、生徒指導に関する研修など似た内容について 2 回受講することになるのかな・・・とも感じます。
- ・ 2 年間でとればいいので、自分で調整したらいいのでは。もしくは申請したら猶予できるとかあるといいのか。
- ・ 校務や教材研究ができずに非常に困る。重なるととても大変そうだ。
- ・ 6 年目研と重なることもあります。困ります。
- ・ 10 年目研でも夏休みに多くを費やすと聞いているので、重ならないように配慮してもらいたい。
- ・ その年にあてはまった先生は研修だらけで、とても子どもと向き合う時間はないのではないのでしょうか。
- ・ かなり不安です。もうすぐ復帰予定ですが、子育てとの両立ができるかどうか・・・。
- ・ とても多忙になる。中堅としてそれなりの公務分掌やいろいろな仕事分担があるのに、とても負担である。
- ・ 教員の資質向上というが、やるべきことが多すぎて身に付いていかないと考える。

- ・ 私は、県教委に採用されていると思っていました。免許更新を「個人的なこと」と言われ信頼が崩れました。資格ではありません。免許です。県教委は税金を使い、時間をつかい、プライドをもって今までも初任者研修や各研修をされていると思っています。どうしても大学の講義が必要なら、10年目研修にとりいれる等の方法はあるのではないのでしょうか。
- ・ 極小規模校ゆえの出会いの多さや公務分掌の負担、それに加え、この2つが重なることには、大きな不安がある。(無理だろうとさえ思う) このままいくと(この学校に残るならば)夏休みをとり終える前に、夏休みが終わると思う。
- ・ ステップアップ研修と予備講習が重なり精神的・肉体的疲労がたまった。ゆっくり自分の研究教科について勉強する時間がなかった。
- ・ 出張研修も多いのに出る機会が更に増えること。
- ・ 講習内容が重なるのではないか。(二度手間)
- ・ 今年度並に夏休み中に実施されて1年で終わらせようと思えば、負担が大きいと思う。
- ・ 同じ内容の講習を受けることとならないか？免許更新と10年目研修で学校を空けたり教材研究以外の時間をとられて、生徒や職員に迷惑をかけることにならないか？時間外勤務がより一層増えるようで心配。離島の方の旅費はどうなっているのでしょうか？自己負担であればかなりの負担だと思います。
- ・ 重複して認めてもらえるようにしてほしい。
- ・ 必修をまだ受講していないので、10年目研と重なり、受講できない場合があるのではないか。
- ・ 負担が多いし、研修を積むので、10年研はなくしてほしい。
- ・ 増やすだけ増やして、まず、先にその顧慮はないものなのか疑問である。夏季休業中にまた重なりが出てきて、予定をたてられなくなり、部活に不都合がでてくると思われる。
- ・ どちらか一つでよい。
- ・ 似たようなことをやることに意味がない。もう少し、教育委員会や文科省は思いつきでなく考えてやってほしい。机上の理論ばかりである行政の人間も現場の最前線に立てば考えが変わるのでは？
- ・ 来年、受講すると10年目と重なって大変だろうと思ったので私は育休中に受講しました。もし重なったら大変すぎると思います。
- ・ 私は、採用が1年遅れているので、重なりは少ないのですが、同期は悲鳴をあげております。与論島

10 来年4月1日から本格実施される予定ですが、教員免許更新制度について、あなたの考えを聞かせてください。(自由記述)

- ・ 教員免許だけでなく、医師、その他の免許についても同じように実施するか廃止するかどちらかである。
- ・ なぜ、免許の条件があとから付けたすことが許されるのか分からない。国のおこしたのなら国がお金を払うべき。なぜ、一度免許を取得した自分たちが勝手に条件をつけられ自腹を払うことをしないといけないのか？
- ・ 専門科目の講座数を増やしてほしい。また、離島の方々や金銭的、または、勤務処理的に負担が少なくなるような内容・日程としてほしい。また、通信制や放送大学等の整備を早急にしてほしい。
- ・ 評価についてテスト形式であるが、果たして必要であるのか。

- ・ なぜ、校長や教育長の証明が必要なのか？
- ・ 何億も予算をかけて実施しているが、逆効果。かえって現場の教師を多忙化に追い込み、混乱を招いている。どのような利点があるのか聞きたい。
- ・ 講座受講と免許の関連が分からない。研修として受講する分には役にたつ講座も結構あったものの、受講して試験に合格しないと認められないというのはどうか。「最新事情」は必修だったが、管理職こそ受けるべきだと思う。
- ・ 10年ごとの更新はなくし、大学卒業後に国家試験を実施して一生使える免許にしてほしい。(医師・看護・弁護士・薬剤師のように)
- ・ 30時間必要なのだろうか？内容を見直ししてほしい。
- ・ 申請から認定まで、すべてネットで行なわないといけいないのも勤務中で手が離せない時もあるし、先着順ということでパソコンの調子も悪い時もあるので・・・他の方法も組み込んでほしい。
- ・ 「資質向上」と言われていますが、実際「資質」が問われているのは管理職の中にもいます。なのになぜ、管理職は免除なのだろう。
- ・ やらなければならないことが多い現場の中で、わずらわしさが常に頭にくっついて離れません。実施するのであれば、もっと事務処理を簡単にできるように、例えば、申し込みは学校ごととかしてほしい。それから、駐車スペースのある会場を使ってほしい。誰もが公共交通機関が使えるとは限らない。
- ・ 評価テストをする時間より、まだ、いろいろな話を聞きたかった。大学の先生方の話を聞く機会は、なかなかないので、残念だった。その場で行なう評価テストは、無意味に感じた。演習の方がよいと思う。
- ・ 何を目的としているのか、正直分からない。同じ講座でも会場（講師）によってスタイルが違っていたし、現場にすぐ使えなかったりするものもあったので（学生相手ではないんですけど）
- ・ 止めてほしい。
- ・ 選択できるものが今年度1つしかなく、来年度以降きちんと講習を完了できるのか不安。鹿児島大学以外の大学では開催されないのか。
- ・ 研修報告の必要性は？
- ・ これだけの予算を使って更新する必要があるのか疑問に思う。講座の幅を広げるとともに、もっと気軽に受講できなければならない。
- ・ インターネットを使つての申し込みから受理までも大変だった。定員割れになる講座がないか毎晩ホームページをみていた。教師の多忙化、大学の先生方の負担につながり本当にこの制度が教育界にとって望ましいか疑問である。しょうがなくやっているというのが現状であろう。
- ・ 受講料が必要となるため改善を図ってほしい。
- ・ 離島に在籍していると希望の講座を受講しにくい。(交通面で)
- ・ テストで不合格にならないか不安である。有料となれば時数ぎりぎりに受講すると思う。しかも、講習定員もいっぱいいっぱいとなれば、再度も1年後受講するのは大変である。テストがなくてもよいのではないか。
- ・ 受講料を無料にすること。
- ・ 希望した講座が受けられるよう定数を増やすこと。
- ・ 評価テストをなくし受講したらOKとすること。
- ・ 教員の数に対して講座の定員が少ないので申し込みが殺到しうまいかならないのではないか。現在職についていない人も将来的に期付をうけたいとなると更新しなければいけないと思うが、そうい

う人にもきちんと連絡がいくのかどうか？

- ・ 見切り発車！
- ・ 教員の仕事は、日々自己研鑽することが必要なもので更新制は良い面もあると思います。しかし、教員をもっと手厚く待遇をよくする方がもっと良い教育的効果が生まれるのではと思ったりします。（その待遇に甘んじなければの話ですが）
- ・ 教員免許更新については、特に何もない（意見はない）が、更新方法など考慮する必要があるのではないかと。
- ・ 本当に継続可能な制度であろうか、とても疑問である。
- ・ 教員だけが必要な制度か。医者は警察官は？
- ・ 現職教員だけでなくペーパー教員の更新については、もっと広く具体的に周知すべきではないか。（常・非常勤講師の確保にも影響するのでは）
- ・ 教員免許更新制の在り方が理解できない。なぜ、S30年、40、50年生まれの方が、最初の更新制になるのか説明もない。それぞれの家庭の事情もあるのに、一方的である。もっと制度の内容を浸透させ、現場の職員に説明がほしい。来年本格実施ならば、場所・費用・駐車場・設備の充実・昼食の時間確保（場の確保）・救護室等、具合が悪くなった場合等のことなども考え様々な条件を考慮してほしい。
- ・ 10年目研修と更新制度の講習と重ねられないのかなと思っています。
- ・ 制度自体、何の意味があるのか分からない。資質向上というが、かえって我々教員を苦しめるだけだと思う。
- ・ 見切り発車で始まっているんじゃないか。自分たちの年代で終わるのではという声もよく聞く。
- ・ 今年度の場合、申し込みがインターネットのみで受付開始時間が、10:00からとは、現職の教員には、とても無理なことである。みんなが平等に受付される（先着順にしても今回の内容は平等でない）形を検討してほしい。受講してみて、担当教科以外でもOKというのでは、更新制の本当の意味をなすものなのかも疑問である。
- ・ 内容次第だと思うのですが、ただ受講すればいいという感じの講習に意味があるのかなあ・・・と疑問に思います。どういう意図があり、どういうものを教員に求めているのかがあまりわかりません。やるべきことは他にもあるように思うのですが・・・。
- ・ 全部無料に、短期集中で、開催地を増やしてほしい。
- ・ 申し込み方法（インターネットは不便）
- ・ 誰を対象に何のためにするのか、よく考えてほしい。その時間に教材研究をしたい。
- ・ 本当に自分たちに必要な講習内容を受講できるといい。そのために、いろいろなカリキュラムや様々な補助（金銭的にも精神的にも）があればよい。
- ・ 形式や方法はまだまだ議論があるところかと思いますが、社会の変化、研究の進歩などを考えるところした機会は是非必要かと思いました。
- ・ 費用もかかり時間もとられるので受講したら必ず認定してほしい。
- ・ 駐車場を準備してほしい。
- ・ 定員数を全員受けられるようにしてほしい。
- ・ きちんとした事前説明が必要である。
- ・ 講習会場が鹿児島中心となっており肝属郡からの受講するのは大変である。
- ・ 本県の場合は、公共交通機関が発達していない離島や地域もあり講習会場までの交通と宿泊等の補助が必要だと考えます。受講後に評価等を実施されたが、果たして意味があるのかどうか？形式

的に各講座で実施しても受講者全員が更新では必要性を感じられない。

- ・ 最新の教育事情の習得が必要であれば、今までにいろいろな講習会等で研修をしてきています。講習内容も今まで受けてきた講習とあまりかわらず、本当にこの制度が必要なのかなと腹が立ちます。おまけに、この財政難に何億の予算をかけ、本当に税金の無駄づかいだと思う。これだけの予算があるなら他にすることが、いっぱいある。この制度は不適格者を出すものではないと文科省は言っているが評価テストがあること自体おかしい。この講習を受けて認定さなければどうなの?何もかもがインターネットで処理され、現場ではメールを見る暇もない。
- ・ お金は安く国で決めたことなのだから無料で実施するとか・・・。大学の先生も大変そうで申し訳なかったです。でも、自己流になりがちな教職員が少し外の空気を吸ってみるような感じでよかったと思います。
- ・ 大学で大学生が受けるような内容の講義を受けるより普段の職員研修の方が職員・子どもたちに有益な研修の方が職員・子どもたちに有益な研修であるので、この制度は無意味だと思う。
- ・ パワーアップ・ステップアップ・・・等、研修が以前から行われていたにもかかわらず、このような制度が施行されなければならなくなったのかを考えると納得いかない気がする。制度という枠組みに縛られなくても、一人一人が資質向上に努める集団であるならば・・・と考える。(理想かもしれないが)
- ・ なくてもいい。何のために・・・と思う。
- ・ 免許更新制度そのものが不要でない。どうしても実施するのであれば必修のみを全教師(管理職を含めた)に行い評価は必要ないと思います。
- ・ 10年に1回受講しないといけないと思うと精神的、経済的、時間的に負担に思われる。教師の職業に対しても悲観的になる。希望がないと思うようになる。
- ・ 忙しくさせるだけ。精神的にも負担になる。教員免許更新制度は廃止になってほしい。研修会への参加(選択制)を公務として行ってほしい。(出張扱いで)
- ・ 本当に実施していけるのかという不安がかなりあります。今回のような早い者勝ち(?)みたいなのではなく対象者を今回は、〇〇歳みたいにしてもいいのかな?と。または地区など・・・難しいかもしれませんが、また、10年後と思うと、かなり負担が大きくなるような気がします。
- ・ まったく必要がない。
- ・ 必要があるのか?実施の仕方もちっと変な感じである。本人の希望する講義の受講が難しく、その日1日限り(半日限り)で評価されるのは、ちっとどんなものだろうか?。
- ・ 地域で講習内容が違ったり基準がどこにあるのかははっきりしていなかったり、よく分からない制度のまま、本格実施するのに疑問を感じる。
- ・ 現職の人にしか、この制度が周知されないのはよくない。期限付きで復職を考えている人は、復職のとき免許なしということになる。5年目・10年目研修があるので、それでいいと思う。どうしてもということであれば、20年目・30年目研修として最近の教育事情の講話等がいいと思う。必ずしなければならない更新手続きに個人負担をどれくらいさせるつもりなのか。個人負担として、どの程度が妥当なのかも考えたい。旅費まで含めると大きい負担になる人もいるのではないか。
- ・ 更新ということなので受講者が、その後の教職で役に立つ内容にしてほしい。
- ・ 大学や県教委が受講対象の人数を把握し、公平に受講できる人数を募集してほしい。勤務時間内に受講申し込みにすると勤務条件の厳しい職場にいる人は不利である。
- ・ 意義あるものになるのか、ならないのかは、講師の工夫次第だと思います。

- ・ 確かに必要なものかもしれないが大学側の都合ではなく本当に参加したくなるものにしてほしい。
- ・ 夏休みの部活動が、この制度のために1週間ほどできなかった。また、他の出張とも重なり、子どもたちに大きな迷惑をかけてしまった。
- ・ 講習を受ける人数に対して講座の定員が少ない(特に必修)ので増やしてほしい。
- ・ 講習を受ける予定
 - ・ 選択(理科)で受講した内容はとても勉強になったし、やってよかったと思う。ただ、教科によっては開設講義の種類や数に偏りがあるようだった。
 - ・ 選択で「生徒指導」に関する講義がなくて残念だった。
- ・ 予備講習だけでも多くの問題が起こっているのに本格実施して大丈夫なのか不安。試験を受けて合格したらOKという更新制度は現場での本当の力量を見ていないのと同じだと思う。もっと内容を見直すべき。
- ・ 廃止すべきだ。
- ・ 万一本格実施する場合、時間的なこと、経済的なこと、勤務関係等々すべての問題点を解決してからにすべきだ。
- ・ 現場の混乱と教員いじめにしかない制度はいらない。
- ・ 電話での問い合わせができないので、聞きたいことが聞けない。インターネットをいつも見られるわけではないので情報よく分からなかった。
- ・ もっと回数、会場をふやしてほしい。あふれる人がでてくる。
- ・ 免許更新ですが、免許をとるところの内容でなく、現場の問題に対応するものにしてほしい。
- ・ 10年ごとの更新ではなく在職中1回だけ受ければよいとなれば・・・
- ・ 選択科目の種類をふやす、あるいは人気のある科目に定員を増やす等の配慮をお願いしたい。
- ・ 育休や産休の時期と重なったり周知徹底が必要である。
- ・ 必要なのか疑問。予備講習も含め体制をもう少ししっかりして行うべきだ。
- ・ 内容はとても勉強になった。2日間で4講座、4つの評価テストは大変だ。しかし、「それでは試験を始めます」の声に140～150名もいる会場から「えー」のブーイング・・・子どもたちにテストをさせている人の声が、これである。これが問題ではないか！
- ・ 本来この免許更新制度は、現在の教職の免許には附記されていなかった内容。どうしても継続されるのであれば、現場の煩雑さを軽減させる手立ても考えられるべき！
- ・ 希望した教科がとれないのは一番の問題です。中には非常にためになる講義や先生もいらっしやいました。
- ・ 意味のあるものかもしれないが、子どもを犠牲にして行うまでの意味があるのか疑問がある。
- ・ 一律に強制的に行われ、自分のしたい研修ができないと思う。管理職はなぜ免除なのか、問題発言等もあるのに資質が高いとは思えないので、管理職も受講すべき。
- ・ 選択はいろいろな領域を開講してくれるとよいと思う。新しい情報を学ぶのには、よい機会だと思う。
- ・ 大学側がその年に受け入れ可能な人数と対象となる人数とでは、かなりの差があり、講習を受けたくてもできないのではないかと思います。また、本年度は予備講習で無料であったが、これから本格実施された場合、費用がどれくらいかかるのか気になる。今回は鹿児島大学でのみの実施であったので、できれば教育委員会(市町村)の方で実施してほしいと思います。
- ・ 10年目研修と重なる場合には、1つでまとめられる所はまとめてほしい。

- ・ 免許更新についての情報が地区によってばらつきがあったと思います。同じ時期に知らせてほしい。
- ・ 必修は、4 講義、試験をパスしないと受けなおしというのはおかしいと思う。とても大変でした。
- ・ この制度を導入したからといって、教員の質が向上するとは思えない。かえって余計な仕事が増えるばかりである。経済的な負担も大きい。
- ・ 本格実施が今年のようにであれば、問題が多すぎます。まず、受け皿選択肢が少なく、該当者がすべて受講できるのかという点。内容が現場に即したものでないという点。認定レベルが高いと免許を失う者が増え、低くすると実施の意味がない。国の立場でも個人の立場でも負担が大きすぎるという点。はっきり言って必要ない制度だと思います。
- ・ できたら、もうしないしてほしい。もっと子どもたちや指導法にかかわる研修をした方がいいと思う。
- ・ もう少し現場の様子、状況等把握した上でのものであってほしい。講習を受けに来ている人の中にも、不安はあった。もし、単位が足りなかったら・・・など。もう少し違う方法でのとりくみはないのだろうか。
- ・ 意味なし（今のようなものなら）
- ・ 講習を受けて新しい知識が増えることは間違いないが、受講しなくても教員の資質が下がることは考えられない。短研でも十分に得られる内容であると思われる。巨額の費用を使うより、10 年間で数項目程度の短研の実施で代用できるものではないか。
- ・ あまり意味がない。教授によっては、とても配慮してくださる方もいたが、テスト・テストの講座もあつたらしい。関連資料の見方や使い方がわかっていればいいぐらいの免許更新であつてほしい。
- ・ 本当にこの講習が、ずっと続くのでしょうか。
- ・ 講習の日程や内容については、もっと検討してほしいです。内容もあまり高度なものがありました・・
- ・ 管理職が受けなくても良いというのは、非常に疑問に覚える。彼らに免許はないのか？申請だけで済むのなら、くだらない考えをもつ管理職は減らない！（怒り！）
- ・ 居住地の近くでも講習を行なってもらいたい。会場に行くだけで疲れてしまう。
- ・ 現場の先生方が、きっと多くの研修に参加できるようにした方がもこのような制度よりも役に立つと感じる。
- ・ 教員免許更新制度は、子ども（児童・生徒）や職員や、その生活のことを何も考えられていない。世の中への言い訳としか思えません。教育を本気で考えていない方たちが考えた制度だと思っております。私たちは地方公務員です。公共の利益のために働いて教員として自己研修をしたいです。目の前の子どもに充分関わりたいです。人間でない教員が増えて人間が育つとは到底思えません。
- ・ 本当に、ずっと続くのだろうか・・・と思うし、なぜ、この制度を導入しなければならなかったのかとか、やり方とか、深く検討されたとは思わない。受講して学べたことは良かったと思うが、上の方の動機が、本当に「教育の未来への展望」をふまえた上で決めたのかどうか・・・疑問である。教員を信頼しなくて教育に未来はないと思う。
- ・ 評価テストはなくてもよいのでは？
- ・ 教員が自分の教師としての資質を問い直すよい機会にはなると思うが、10 年毎でなく定年ま

でに一度あればよいのでは。免許以外にもいろいろな研修の機会はある、更新のために今の自分に関係ない講座まで受けなければならないのは苦痛である。

- ・ 完全撤廃または縮減。
- ・ 今回は無料で受講できたので、交通だけで済んだが有料となると、かなり負担が大きくなるのではないと思う。(交通費も離島だとかなり大きい)
- ・ 期日は夏季休業中の平日に出張もしくは研修でお願いしたい。休日の場合、事故等が起こったときに個人の責任となり失職の可能性がある。個人的なこととして講習代もかかり、離島勤務の職員は、宿泊費・交通費の負担も大きい。また、失職の可能性もある強制的な講習を個人的なこととして処理することに違和感がある。鹿大とのやりとりにもインターネットを通して申し込むが、個人的なこととしてメールでの通達なので、本人に気付かれない可能性がある。実際、校内LAN整備のためにインターネットが使えず、必修の講習の変更がわからず、受講し損ねた。この件に関しては、不備を認めてもらったので補講があるが、今後も起こる可能性がある。鹿大に最終的に文書で申し込みをさせているので、変更や案内は文書で知らせてほしい。
- ・ これ以上、教員を苦しめないで！！と言いたいです。受講申し込みも、市内の方ならすぐに申し込みが出来ると思いますが、(先着順なので) 地方に住んでいる人には、かなり不利です。(受講したいものが受けられないという) 住んでいる地域で格差が出ているのは納得できません。こういう制度をするのであれば、きちんと受け皿を作ってから行なってほしいです。そもそも、この制度は、教員のためではなく、ただの見せしめとしか思えません。見切り発車もいいところです。10 年後に更新・・・とありますが、10 年後に、この制度が残っているのも疑問です。
- ・ 10 年目研との重複、免除制による教員間のひずみ、受け皿の大学の負担など課題は多い。
- ・ 現行のシステムでは、難しいと思います。見切り発車のスタートでの本格実施は、ごたごた感が否めません。
- ・ たった半日または1日講義を受けて、持ち込み不可のテストがいくつかあった。無理があると思いました。大学の先生側も、そういう考えの人が多かったです。
- ・ 勝手に決められたな・・・という感じです。しぶしぶ受けましたが。このまま続くのか疑問です。
- ・ もう少し練れないものだろうか。中途半端になりそう。
- ・ 必要ないと思う。本当に形だけで、教員の立場からは何も考えられていない。制度を実施する側の自己満足、世間体のみ。
- ・ 予想したことであったが、あまり意味を感じず、受講者・講師ともに義務的で形式的なものがある。正直、無駄な時間とお金を費やす制度であると実感した。
- ・ 新しい情報を知る、自分のとりくみを振り返る機会としては、いいと思います。内容が充実するといいです。離島でしか実施がない講座は参加が難しい。必修は枠を大きくしてほしい。
- ・ 受講者のニーズにまるで対応できていない。また、ニーズに合う講義が250名相手にできるのか？
- ・ 250名の受講している教員の評価をどう客観的な基準で行なっているのか？
- ・ 一律の講義を行なうよりも人数を少なくして討論形式とか行なう方がよほど有意義だと思う。
- ・ 仕方がないかな？と思います。
- ・ 各県の研修制度(10年研等)との整合性もなく、おそらく今後はそれぞれに(まるで学テス

トのように) 意義があるとして、中止されることはないだろうと悲観的な予測。ビルド&ビルドで学校は多忙になるばかりで、多忙さゆえに制度の趣旨とは反対に教員の資質の劣化はさらに進むと思う。ある同僚は、「やめろということですよね」と言っていた。多忙についていけない者、年をとり体力的に続かない者は管理職になるか辞めるしかないことになっていく、もう今が、限界。文科省の政策のダッチロールもいいかげんにしろと思う。対処療法の繰り返して子どもに力がつくはずもないし、先生方も振り回されるだけ。免許更新に限らず全体の制度設計を根本から作り直す(現場の視点で) べきだと思う。

- ・ 自分の教科に関係しなければ意味があまりないと思います。
- ・ ステップアップやパワーアップの延長で 20 年目研修、30 年目研修ということで、変わっていかばよいのでは。研修は、自身の意識を高めるために必要。(受講費用は県教委がすべて予算化すべき)
- ・ 講習の中には大変魅力的な内容であったものの話もきいたりしました。学んでよかった、もっと学びたいという内容のものの充実を進めると、この制度もより有意義なものになると思います。
- ・ 学校現場で学ぶことが多いので、予算等の面からも更新制度は必要ないのでは
- ・ 学校でも校外でも研修を受けているため必要がない。数百万円もかけて大学へ通い資格を得た上に、更に講座料+交通費など金銭面でも大変である。何より片道 1 時間半(計 3 時間)の労力は大変なものであった。渋滞で子どもの迎えも心配した。講座中は、保育所開設などの面で配慮がほしい。
- ・ 時代の要請かもしれないが、手間どった。
- ・ あのレポートやテスト(試験)何とかならないものか。不愉快だった。
- ・ これが子どもたちのためになるとは、到底思えない。自習にして申し込みをした学校があるという。こんなことで、いいのだろうか。子どもを裏切っている点では同じ。
- ・ 改めて振り返る事ができる内容もあったが、時間に追われる研修であったように思う。
- ・ 不適格教員の排除の策かなと考えてしまう。こういう制度は、早く止めた方がいいと思う。
- ・ 今回のような形では意味のない形だけの更新制度だと思う。一体何を目的とし行なわれるものなのか。よく分からない。いずれ、内容を厳しくし、本当に人員を切り捨てていくための布石なのか?
- ・ 受け入れ大学も準備も中途半端な感じで負担を感じているようだった。受ける側も制度の趣旨、内容がよく理解できず、今後が不安だ。
- ・ 十分な検討もなされないままスタートした制度という感がしてなりません。更新するならするで、はたして受け皿は充分なのだろうか。会場が少なければ、遠方から受講する人の経済的な負担は、かなり大きくなる。教員も一般の生活を送っているわけであるから、いろいろな状況の人がいるわけで、もっと多くの側面から考えて実施計画、内容を検討してほしい。ただ、疲れはてるだけの更新では何の意味もない。
- ・ 教育基本法関連 3 法案の改悪の流れであると思う。意味のない制度に多額の費用をかけるより教職員が意欲を持って働ける体制づくりに使ってほしい。大学側からも反対してほしいという声がきかれた。1 コマ終了後のテストも苦痛だった。
- ・ 今回の講習におけるテストは、その日の最後の時間に行なわれたため、受講日以外に時間を費やすことはなかったが、来年からの本格実施においては、科目によっては、レポートで合否を決めることもあると聞いています。そうすると、受講日以外の時間をレポートの作成に費や

すことになる、10 年目研修にも影響するのではないかと思います。

- ・ 教員免許を取得するために教育学部に入り、4 年間学んだ事は、何だったのかと考えさせられる。10 年間の有効期限つきで取得した免許ではなかった筈。数週間で取れる運転免許などとは、質が異なる。免許状を取得した時の意味や価値をその後の制度化で歪められるのは納得いかない。管理職、一部の指導的立場にある教員については免除されるという制度にも不公平を感じる。
- ・ 学校では年間計画に研修も計画に組み入れられ、現場で直面する課題の解決に努力している。各学校の研修が十分な予算でできるような行政の支援が、むしろ必要だと思う。もう少し、教職員の待遇を大事に扱ってほしい。
- ・ 今私たちに必要なことは何でしょう？勤務時間内でも仕事が終わらないこの世の中、土・日も子どものことをしなければいけないこの世の中。なのに、子どもの学力は上がらない。こちらが、文部科学省に聞きたいくらいです。なぜ子どもたちの学力が下がっているのか。原因は何だと思いますか？
- ・ 意味がない。講習賛成という意見を、我々現場の教師の中で聞いたことがない。
- ・ 受講したいという内容が短研などに比べると 1 つもない。30 時間受講するより、現場で知ることの方が大切。
- ・ 会場が鹿大だけなのはおかしい。
- ・ 受付人数が少なすぎ。ある必修講座は 250 人だった。H12 年度小学校採用人数が 200 人程度だったのに対し、この人数では、どう考えても少なすぎる。(中・高 S40・S30 年生の方々など多数いるのに)
- ・ 2 年で取得するようにとあるが、該当者数に対して受け入れの鹿大側の人数には限りがある。
- ・ 会場近くの住まい以外の人、往復の費用・時間がかなりかかる。必ず受講しないと行けないのなら、会場を増やしたり補助を出したりすることを明確に出してほしい。
- ・ 校長印が必要な書類なのに関心がなさそう。(どこまで知っているのか)
- ・ 全員が受講できるようにすべき。(回数や地区で分けるなど)申し込みが早い者勝ち、ネットに不慣れな人は不利だし公平でないのはおかしい。
- ・ 講習日に大会などと重なり受講できない人への配慮が必要。
- ・ 旅費負担が多すぎた。
- ・ 評価テストが、なぜ必要なのか分からない。講習(9/27 特支)の中で、講師が「今回の主旨はフレッシュ研修などとは違って、10 年、20 年、30 年前とは教材内容も進んでいるので、昔のものより最新の情報や資料・知識を得るのが目的」と話された。その内容でテストが必要なのか？それよりは、テストの時間を質疑応答やより多くの最新データを！現実として質疑するより、テストの暗記をするのが心理は当然だろう。
- ・ 更新制は仕方がないと思うが、不公平がないように制度を整えてほしい。あと、受講を 2 年ではなく 3~5 年にするなど弾力的な運用を。
- ・ 負担が増えないようにお願いします。
- ・ 受講生がたくさんいるので、受けられただけでもよかったと思うか、1 単位もとれなかった人や必修科目を受けられなかった人もいて、もっと細かく優先者を分けてほしい。受ける側も、教える側も本当に大変だったと思う。
- ・ 10 年ごとに更新ということで身分(仕事)が保証されず安心して仕事に専念できない。
- ・ 50 代の試験は介護や自分の体調も変化する時で厳しいものがある。

- ・ 必要ないと思う。講座を受けてテストを実施したからといって教員の資質が向上するとは思えない。でも、どうしてもするのであれば、感想を書かせるなどして単位を全員にとらせるようなテストを今後すすめてほしい。
- ・ 現場の教員、大学、免許状を持っている人すべてが、大変そうだなと思います。これから始まりますが、不具合等は早めに改善して欲しいです。(現職でなくて免許状を持っている友人たちは、とても不安がっていますし。)
- ・ 一つの講座が、だいたい3時間なのに内容が多く、深まりがなく、新しい知識を得た感もあまりなかった。(これ以上、時間が増えると困るので、我慢なのかなと思った) これからの職務に役立つという実感が欲しい。(科目によってはよかったという感想もきかれました)
- ・ 管理職・教育委員会(指導主事)なども、ぜひ受けるべき。
- ・ 講義そのものは、勉強になったが、ムダを感じた。
- ・ 制度自体については、特に意見はありません。
- ・ 講座については、該当者数が十分申し込めるだけのものを開設してほしい。
- ・ 医者も更新制にしろ!
- ・ 今年は申し込みは先着順だったが、きちんと該当者の数を把握し、全員が受講できるようにしてもらいたい。例えば、募集開始2週間は、鹿児島県の教職員のみ受付けるなど、今年は、他県の人が多かった。おかげで必修が受けられなかった。
- ・ そもそも、安倍元首相は、国民の支持を得ずに首相になって辞めたんだから、この制度も止めるべき。続けるなら、10年研を短縮ではなく廃止でしょう。そもそも主旨が同じなんだから。
- ・ みんな無理をして参加するのだから、するんだったら、内容を充実したためになる講義をしてほしい。大学の先生は大変そうなので、文科省の人が直接来てすればいい。何もしないよりは、何かしら吸収できたので現場の負担にならないようにできたらいいと思った。
- ・ 申し込みから認定の確認にいたるまでインターネットが用いられ、操作に不慣れな者にとっては、面倒であった。忙しくなる一方の学校現場で、教師の負担をさらに増やすだけの教育的効果があるとは思えない。
- ・ 必要はないと思います。意義がわかりません。実施する大学の方も混乱している様です。また、講習に費用がかかる様なら、その負担も出てくるので制度廃止でいいと思います。
- ・ すでに免許を持っている人まで対象にするのはおかしい。
- ・ 現在のままの理念で今後も進んでいけばよいが、この制度を利用して教員への圧力をかけようとする人たちが多いことを危惧している。
- ・ 鹿大の講習だけでなく、他の研修もカウントできるようにしてほしい。(基準はあると思うが) 皆、それぞれ自主的に研修に行っているの。
- ・ 教師が資質向上のために研修を積む機会が増えるのは大変結構なことだと思っています。しかしながら、今回のように周知不足、日程調整不足、教える側の認識不足等、不足だらけの実施が、本当に資質向上につながるのかと疑問です。何かと教師の問題行動が取り上げられるご時世ですが、何かやっとならば変わるという単純なものではないと思います。土日に集中した講座に「教師は土・日、夏休みはひまだから」と言われているようで、なぜ、こんなばかにされたような扱いを受けないといかんのだろうと思っています。平日だと子どもたちに負担がかかりますもの、仕方ありませんね。としわ寄せだらけの制度など本末転倒ではないですかね。人をバカにした制度で人は育たず。教育は人なり。
- ・ 意味はあると思う。日程を工夫してほしい。

- この制度の目的は、指導力不足教員に認定できない（現場からの反発、Pからの反発）教員を追い出すためが、当初の目的のはずです。必修のテストで持ち込み不可をトップダウンで学部長から下りて、必修科目のテスト結果だけが、異常に遅いことから、私は、そう思いました。やがて、行政がテストをしていくと思います。
- 必要性を感じない。ただでさえ忙しく、管理が厳しいのに、免許更新制度が導入されると、心に余裕がなくなり追い立てられるようである。もっと自由な研修を受ける方が、よっぽどためになると思う。
- 実施しなくていいと思う。不適格教員・・・の制度もあるし、予算も自己負担はおかしい。大学で免許をとった時は、そういう決まりもなかったはずです・・・
- やめてほしい。意味もなく多忙化を進めるだけ。